DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3.402/NNBS NO.

GHQ/SCAP Records (RG 331, National Archives and Records Service)

Description of contents

(1) Box no. 2981

(2) Folder title/number: (27)
Workshop

(3) Date: ?

(4) Subject:

Classification	Type of record
810, 9811	e, t

(5) Item description and comment:
Kinki

(6) Reproduction: (Yes) No

(7) Film no. Sheet no.

(Compiled by *National Diet Library*)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNSC NO.

Kinki Secondary Education Workshop
26 June - 2 July 1951
at Nijo L.S.S. Kyoto City

27 June:

0900 - 1000: Panel Discussion on "Problems of Secondary Education"

Members: Dr. Shitahodo, Kyoto University
Mr. Kataoka, "
Mr. Kuromaru, "
Mr. Izaka, Mombusho

Main points discussed:

1. Education has come to be approached not only from the teacher's standpoint but also from the learner's.(Phychology)

2. Independence, integrity, self-reliance.

3. Purification and enhancement of unconscious self.

1000 - 1200: Group Discussions:

The participants were divided into 15 groups according to their interest.

Group 4: "Technique of Guidance."

3 subgroups:

Test
Method of counselling
Case study.

Group 6: "Special Curricular Activities."
Home Room Activities:
Standards for Evaluation:
1. Participation.
2. Whether or not the teacher supervises democratically.
3. Status as individual and as representative.

Group 1: "Evaluation of School"

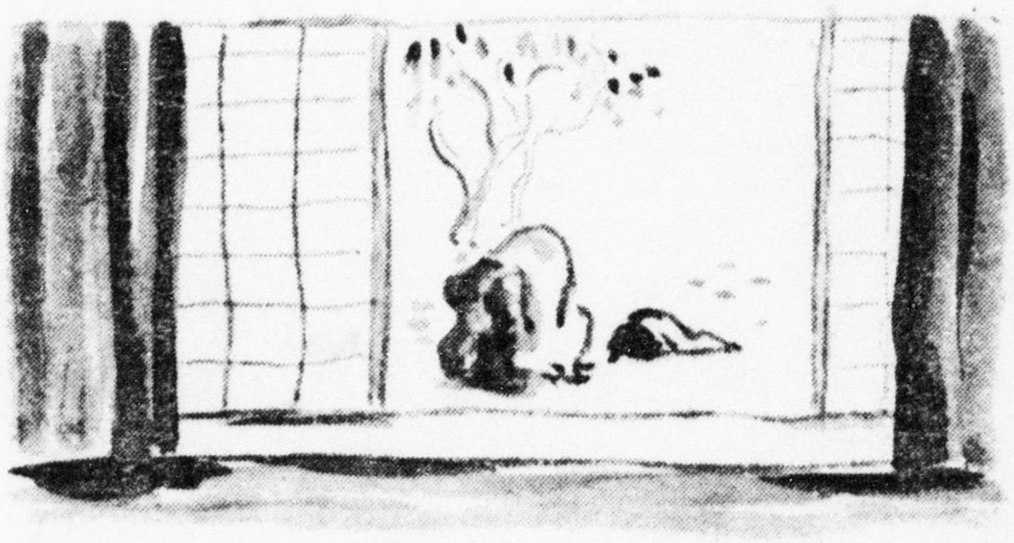
Kyoto plan in-stead of Mombusho's was taken up for discussion.

DECLASSIFIED E.O. 12033 SECTION 3 402/NNDS NO.

昭和二十六年度

近畿地区

中等教育研究集會要項



文部省

主催　京都府教育委員會

京都市教育委員會

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNBS No.

—目　　次—

頁

1. 目　　的……1
2. 主　　催……1
3. 指導大学……1
4. 賛　　助……1
5. 会　　期……1
6. 会　　場……1
7. 参加府県……1
8. 研究部会及び指導者……1
9. 全般共通日程……3
10. 府県代表，議長，議長補佐表……5
11. 各部会研究問題，実演授業計画，及び参加者名簿……6
    - 第一部会……6
    - 第二部会……8
    - 第三部会……11
    - 第四部会……14
    - 第五部会……16
    - 第六部会……18
    - 第七部会……20
    - 第八部会……22
    - 第九部会……24
    - 第十部会……26
    - 第十一部会……28
    - 第十二部会……29
    - 第十三部会……31
    - 第十四部会……33
    - 第十五部会……35
12. 徽章及び色分け表……37
13. 宿　舎　表……37
14. 附録　会場案内図
    市内略図

昭和26年度近畿地区

中等教育研究集会実施要項

1. 目　　的

「青年期にある生徒の理解と問題の解決」を研究主題とし，中等教育に関する現実の問題を把握し，これを解決するために参加者の協力と有能な指導者の指導とによつて望ましい成果を收め，その成果が現場の学校教育に直ちに採用され教育効果があがるようにすることを目的とする。

2. 主　　催

文部省，京都府教育委員会，京都市教育委員会

3. 指導大学

京都大学

4. 賛　　助

C. I. E.　近畿民事部

兵庫県，大阪府，和歌山県，三重県，奈良県，滋賀県各教育委員会

5. 會　　期

6月26日（火）～7月2日（月）

6. 會　　場

京都市立二条中学校

京都市上京区智恵光院竹屋町下ル（電話壬生1535・2500番）

7. 参加府縣

兵庫県，大阪府，和歌山県，三重県，奈良県，滋賀県，京都府

8. 研究部會及び指導者

C. I. E. 指導官

ホーリングスヘツド女史

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (d), AMBO NO.

バンデイ女史
ジヤドソン氏
ボワー氏

部会番号	部会名	指導者	補助者
1	学校評価	文部省 大照事務官	京都府教委 IFEL 大橋主事 京都市教委 IFEL 松本指導主事
2	学習指導	京都大学 文博 下程教授	京都府教委 IFEL 柏木指導主事 京都大学 苧阪助教授
3	道徳教育	京都大学 片岡教授	京都市教委 IFEL 豊島指導主事
4	生徒指導の技術	京都大学（医学部） 医博 黒丸講師 文部省 井坂事務官	京都府教委 IFEL 高日主事 京都市教委 IFEL 南指導主事
5	生徒指導のためのレクリエーション計画	京都大学 文博 下程教授 東京教育大学 前川教授	竜谷大学 山崎講師 京都府教委 新庄主事
6	特別教育活動	京都大学 末永助教授	京都府教委 IFEL 小寺主事 大阪学芸大学 石井講師
7	学校保健	京都大学 医博 川畑教授	京都府教委 IFEL 山本主事 兵庫県教委 杉浦技師
8	地域社会と学校	京都大学 文博 臼井教授	京都市教委 IFEL 奥村指導主事 IFEL 草間指導主事
9	国際的理解の教育	京都大学 文博 有賀教授 お茶水女子大附属高校 徳山教諭	京都府教委 IFEL 河越主事 京都府立山城高校 小泉校長
10	中学校職業家庭科	文部省 長谷川事務官	京都府教育研究所 IFEL 吉川所員
11	農業教育	京都大学（農学部） 農博 大槻教授 文部省 厚沢事務官	京都府教委 IFEL 高橋主事
12	工業教育	京都大学（工学部） 工博 岡田教授	京都市立伏見高校 奥谷校長

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. [illegible]

13	商業教育	京都大学（経済学部） 経博 堀江教授	京都市立洛陽高校 桐田教諭
14	家庭科教育	文部省 山本事務官	京都府教育研究所 IFEL 和住所員
15	職業指導	浪花大学教育学部 加藤教授	京都府教委 IFEL 村山主事

9. 全般共通日程

		八・三〇	九・〇〇	九・三〇	一〇・〇〇	一〇・三〇	一二・〇〇	一二・三〇	一二・四五	一三・一五	一三・〇〇	一四・〇〇	一四・三〇	一六・三〇
6月26日	火		開会式	講演 C.I.E.	日程説明	班別研究		R		L	班別研究			
27日	水	講演 下程教授			班別研究			R		L	班別研究			
28日	木	授業説明	実演授業		授業研究会		班別研究			L	班別研究			
29日	金	講演 佐々木教授			班別研究			R		L	小学校参観（朱雀第六小学校）			
30日	土	班別研究						R		L	班別研究			
7月1日	日	講演 有賀教授			班別研究			R		L	班別研究			
2日	月	班別研究			研究報告会 質疑応答		閉会			L	府県別事後計画	解散		

R：レクリエーション　　L：昼食・休憩

京都市立朱雀第六小学校（京都市中京区西ノ京車坂町　電話壬生3206番）

市電　千本出世稲荷前下車西入　徒歩5分

◎開會式

挨拶　　京都府教育委員会教育長

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO. [illegible]

京都市教育委員会教育長
文部省
京都大学
祝辞　C. I. E.
近畿民事部
京都府知事
京都市長
指導者紹介　京都府教育委員会指導部長
日程説明　同　学校指導課長
会場説明　京都市立二条中学校長

◎閉會式

挨拶　京都府教育委員会教育長
京都市教育委員会教育長
文部省
京都大学
C. I. E.
謝辞　参加者代表

◎講演

新教育の本質	京都大学	文博 下程教授
新しい理科教育について	京都大学	理博 佐々木教授
国際的理解の教育	京都大学	文博 有賀教授

◎レクリエーション

6月26日	プラスバンド 舞踊	上京中学校 鴨沂高等学校
27日	合唱練習（コーラス）	
28日	なし	
29日	全員行進（フォークダンス）	
30日	室内ゲーム	
7月 1日	学習発表	二条中学校
2日	なし	

10. 府縣代表者・議長・議長補佐表

	代表者	第一部会	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
奈良県	第一部会 中川良秀						◎今本勝造							◎堀本明夫		
和歌山県	第一部会 山本佐蔵									◎佐山武夫					◎岩橋勇	
三重県	第八部会 山本正則	◎鴛野義俊							◎世古清三							◎坂上長十郎
兵庫県	第一部会 高橋康		◎松井利雄										◎石本勇造			
滋賀県	第一部会 徳山一郎			○小川留之助		◎真嶋道雄		◎北村謙次								
大阪府	第十一部会 山崎太郎				◎早瀬俊夫						○渡辺嘉寿	◎佐藤秀吉				
京都府	第十四部会 宮脇繁雄	○下田吉太郎	○土井福蔵	◎北尾治雄	○寺田昌	○西村正富	○三宅一輔	○瀬口満	○小森健吉	○松下建市	◎中島秀雄	○吉田久雄	○畿貝勇	○前田辰平	○荒木稔子	○吉田英男

◎印議長　○印議長補佐

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 102/NNSS NO.

11. 各部會研究問題，實演授業計畫，及び參加者名簿

第一部会　学校評価

1. 学校評価の意義と目標の設定
2. 学校管理の評価基準の設定とその適用

◎日　　程

日	曜	八・三〇	九・〇〇	九・三〇	一〇・〇〇	一〇・三〇	一一・〇〇	一一・三〇	一一・四五	一三・一五	一三・〇〇	一四・〇〇	一四・三〇	一六・三〇
26	火		開会	Lec		日程説明	全般説明質疑応答		R	L	事前研究の発表並に文部省原案の基準と手引について討議			
27	水	Lec			第一日の午後に同じ				R	L	検討と実地評価の準備			
28	木	説明	実地評価						L	R	実地評価	実地評価の討議と反省		
29	金	Lec			実地評価の結果について				R	L	参観			
30	土	大項目別の検討							R	L	午前に同じ			
1	日	Lec			大項目毎の検討				R	L	整理——記録の作成			
2	月	報告書作成			報告会		閉会		L	事後計画	解散			

◎デモンストレーション計画

28日（木）

8.30— 9.00　　1. 学校教育概要の説明（校長）

　　2. 学校評価の仕方（片岡教授）

9.00— 9.55　　学校施設全般並に管理状況の視察

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

9.55—10.50	実地評価	1. 狭隘なる運動場を如何に管理するか
		2. 職業家庭科の施設と活用状況
10.50—11.45		3. 図書館の施設とその管理状況
		4. 工作実習室並に理科実習室の管理状況
		5. 生徒会活動
11.45—12.05		6. 放送教育施設の管理状況
12.05—13.00		昼　食
13.00—13.30		レクリエーション
13.30—14.30		実地評価. 校長・教職員及び生徒との面談
14.30—16.30		実地評価の討議と反省

◎デモンストレーション実施校

京都市立伏見中学校

京都市伏見区御駕籠町97（電話伏見261番）

京阪電車　丹波橋下車　徒歩5分

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
中川良秀	男	宇智郡五条中学校		校長
菊谷藤右衛門	男	高市郡八木中学校	数学	教諭
林巽	男	奈良県教委指導課		指導主事
（三重）				
鷲野義俊	男	三重県立桑名高等学校		校長
伊藤光男	男	桑名郡長島中学校		校長
中山幸作	男	三重県教委秘書室		主事
植村稔	男	〃		主事
乾正治	男	〃　指導課		指導主事
（和歌山）				
里上賢蔵	男	日高郡湯川中学校		校長
山本佐藏	男	和歌山県教委指導課		指導主事
（兵庫）				
三輪保	男	神崎郡香呂中学校		校長
郷芙美枝	女	神戸市原田中学校	理科	校長
宮崎康	男	西宮市教委指導課		指導主事

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS No.

薗田定光	男	神戸市村野工業高校	国語	教諭
高橋康	男	兵庫県教委学校指導課	数学	主事
崎谷操	男	東光中学校(姫路市学務課)	(図書館)社会	視学員
(滋賀)				
渡辺弘善	男	県立日野高等学校	国語	校長
石原啓三	男	犬上東中学校	職業・社会	教頭
徳山一郎	男	滋賀県教委	国語	指導主事
(大阪)				
村川金雄	男	大阪府教委北河内出張所	社会	指導主事
鍛冶本善一	男	大阪府教委南河内出張所学務課	数学	課長
綾仁信治郎	男	大阪府立布施高等学校	数学	教諭
長崎保三	男	大阪市教委	商業	指導主事
丸山一己	男	大阪市住吉第一中学校	数学	校長
(京都)				
大南永明	男	京都市私立京都手芸女子中学校	理科	教諭
下田吉太郎	男	京都市立陶化中学校		校長
吉岡国猛	男	京都市立上京中学校	国語	教諭
加藤重義	男	〃 伏見中学校		校長
八木達男	男	京都府立園部高等学校	国語	副校長
今西清	男	〃 須知高等学校	生物	教諭
三佐尾正二	男	京都市立堀川高等学校	社会	教諭
大槻輝雄	男	船井郡南丹中学校	社会・職業	教諭
野間逾	男	〃 園部中学校		校長
山下三郎	男	〃 檜山中学校	国語	教頭
中西清一郎	男	京都府教育研究所	教育評価	所員

第二部会　学習指導

中等学校における学習方法の改善について

◎デモンストレーション計画

28日(木)尚徳中学校

8.30— 9.10　授業説明と評価の仕方
9.10— 9.25　休憩
9.25—10.15　実演授業(19学級)第二限

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO.

10.15—10.25	休　　憩
10.25—11.15	実演授業（18学級）第三限
11.15—12.20	授業研究会
12.20—13.10	昼　　食
13.10—16.30	討　　議

３０日（土）西京高等学校

9.00— 9.30	授業説明
9.30—10.20	実演授業（国・生・被）
10.20—10.30	休　　憩
10.30—11.20	実演授業（解Ⅰ・英）
11.20—12.00	授業研究会
12.00—13.00	昼　　食
13.00—16.30	討　　議

◎学習指導者

尚徳中学校

学年	組	限	単元名	指導者
1	1, 2 A	3	数学　私たちの体位	北山　素
2	2	3	国語　作文の添削	佐野　晃
2	5	3	理科　何をどれだけ食べたらよいか	佐々義江
2	6	2, 3	社会　世界各地の農牧業と生活はどのようにして行われているか	橋爪　清
3	A	3	英語　Summer	浜中光恪

西京高等学校

学年	組	限	単元名	指導者
3	7	2	生物　植物の葉は養分をつくるのにどのように役立つか	川端三郎
3	選	2, 3	被服　製作（ワンピースドレス）	武松淑子
1	5	2	国語　生きる力	村田亮介
1	A	3	解Ⅰ　式の計算（開平）	大藪健造
1		3	英語　A Letter	佐々木仁衛

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS No.

◎デモンストレーション実施校

京都市立尚徳中学校
京都市下京区鍵屋町新町東（電話下2220番）
市電　烏丸五条下車　下ル西入ル

京都市立西京高等学校
京都市中京区西ノ京中合町（電話壬生10番）
市電　西大路御池下車　西側

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
松原一夫	男	南葛城郡掖上中学校		校長
上田忠雄	男	奈良市女子大附属中学校	社会	教諭
島岡定雄	男	奈良県教委地方事務局		主事
森本一男	男	奈良県教委地方事務局		主事
鶴田憲市	男	奈良市学芸大附属中学校	理科・数学	教諭
藤原逸治	男	私立育英高等学校	国語・社会	教諭
宮下太	男	山辺郡丹波市町私立天理中学校		教頭
（三重）				
中川亮太	男	三重県立名張高等学校	化学・社会	教諭
南川幸	男	三重郡菰野中学校	理科・数学	教諭
赤杉義雄	男	南牟婁郡飛鳥中学校	国語	教諭
西村周介	男	三重大学学芸部附属亀山中学校	数学	教諭
加藤三雄	男	桑名市成徳中学校	社会・数学	教諭
（和歌山）				
檜尾貞子	女	和歌山県教委地方教育局	国語・家庭	主事
（兵庫）				
犬伏高子	女	神戸市駒ヶ林中学校	理科	教諭
平山幸夫	男	兵庫県立夢野台高等学校	国語	教諭
浅田正雄	男	城崎郡城崎中学校		校長
河南貞雄	男	西宮市私立武庫川学院	社会	教諭
松井利雄	男	兵庫県教委学校指導課	国語	主事
（滋賀）				
東野泰憲	男	県立伊香高等学校	国語	教諭

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO.

大浦善七	男	鏡岡中学校	国語・英語	教諭
山田実	男	滋賀大学附属中学校	理科	教諭
堀川芳也	男	高島中央中学校	図工・理科	教諭
(大阪)				
村田正夫	男	大阪府八尾市立八尾中学校	理科	教諭
近藤文夫	男	〃 三島郡三ヶ牧中学校	社会	校長
梶山隆四郎	男	大阪市教委	国語	指導主事
赤松良夫	男	大阪市立東中学校	理科	教諭
中野次男	男	大阪府立天王寺高等学校	理科	教諭
川上重男	男	大阪府泉佐野市立第二中学校	数学	教諭
(京都)				
矢尾秀馬	男	京都市私立立命館中学校	理科	教諭
清瀬行子	女	京都市立洛南中学校	国語	教諭
山崎外次	男	〃 上桂中学校	理科	教諭
堀川慎一	男	〃 上京中学校	理科	教諭
藤本房子	女	京都府立東舞鶴高等学校	国語	教諭
中谷喜久治	男	〃 西舞鶴高等学校	理科	教諭
高山兵治	男	京都市立西京高等学校	数学	教諭
伊藤秀一	男	〃 西京高等学校	国語	教諭
土井福蔵	男	舞鶴市城南中学校		校長
藤木浩	男	京都学芸大学附属中学校	社会	文部教官
井上笑子	女	京都府教育研究所	ガイダンス	所員
福田伝太郎	男	舞鶴市白糸中学校	社会	教頭
一坂忠重	男	〃 城北中学校	理科	教諭

第三部会　道徳教育

学校における道徳教育振興の具体的方法

◎デモンストレーション計画

28日（木）堀川高等学校

8.30— 9.00	授業説明
9.00— 9.50	実演授業
9.50—10.30	移動

28日（木）二条中学校

10.30—11.00	授業説明
11.00—11.50	実演授業

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNS NO.

11.50—13.00	昼　　食
13.00—13.50	実演授業
13.50—14.50	授業研究会
14.50—16.30	討　　議

◎学習指導者

堀川高等学校

学年	組	単元名	指導者
3		国語 性　説	相浦　果
2, 3		世界史 中世の社会と文化はどのようであつたか	上阪　潔
2		英語 Daniel Defoe : ROBINSON CRUSOE	村上　正
2	A	英語 Readings From Authoresses : BRITISH AND AMERICAN	熊谷　治
1	A	英語 Reader Vol. 1. Unit Ⅱ SPORT	村上克己
1	3	国語 ことばと生活 (1)会議の進め方	藤沢　胖
1		生物 細胞について種々のことを研究してみましよう	高倉寛太郎

二条中学校

学年	組	単元名	指導者
3	8	国語 詩　歌	籔内中喜
3	7	社会 封建社会の統一	山本新一
2	4	美化作業 私達の勉強の場を美しくしよう	馬淵　弘

◎デモンストレーション実施校

京都市立堀川高等学校

京都市中京区堀川錦小路上ル（電話本局219・4958番）

市電　四条堀川下車　上ル

京都市立二条中学校

京都市上京区智恵光院竹屋町下ル（電話壬生1535・2500番）

市電　千本線出世いなり前下車　東入ル

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
村田甚吾	男	奈良県立奈良高等学校	社会教諭	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

新木四朗	男	大和高田市片塩中学校	数学	教諭
川添秀之助	男	宇陀郡大宇陀中学校		校長
大谷甚太郎	男	奈良県教委地方事務局		主事
北村至道	男	宇陀郡大宇陀中学校	社会	教諭
中野薫	男	奈良市学芸大附属中	社会	教諭
谷村能男	男	奈良県教委指導課	国語	指導主事
(三重)				
山田和子	女	三重県立白子高等学校	家庭	教諭
松本隆	男	鈴鹿市平田野中学校		校長
小林明	男	三重大学学芸学部附属亀山中学校	社会	教諭
阪本董夫	男	三重県教委学校教育課		主事
(和歌山)				
梅本新十郎	男	和歌山市教育課	社会	視学
竹中輝夫	男	和歌山県教委指導課	社会	主事
(兵庫)				
由井八郎	男	三原郡中央中学校		校長
田淵義彦	男	竜野市竜野中学校	国語	教諭
竹浪友治郎	男	兵庫県立姫路東高等学校		校長
森山清止	男	神戸大学教育学部附属住吉中学校	国語	教諭
広岡克己	男	兵庫県教委学校指導課	社会	主事
(滋賀)				
小川留之助	男	神崎中学校	図工・英語	教諭
小野吟右衛門	男	県立虎姫高等学校	理科	教諭
沢伊三郎	男	彦根市教委	社会	指導主事
(大阪)				
夏目絢子	女	大阪府泉北郡取石中学校	家庭	教諭
中野国三郎	男	〃 三島郡富田町立中学校	体育・社会	教諭
松田正	男	大阪市立昭和中学校	社会	教諭
増田ゑみ	女	〃 桜宮高等学校	国語	教諭
山田智旭	男	大阪府立堺工業高等学校	社会	教諭
中林左近	男	大阪府教委指導室	社会	指導主事
(京都)				
手島司	男	京都市私立家政学園高等学校	外国語	教諭
北尾治雄	男	京都市立洛南中学校	社会	教諭
武市政子	女	〃 柳池中学校	社会	教諭
渡辺博	男	京都市教育研究所		所員

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

長谷川守次	男	京都市立高野中学校	社会	校長
上坂潔	男	〃 堀川高等学校	社会	講師
桜木瞭	男	京都府立宮津高等学校	英語	教諭
園順也	男	〃 洛北高等学校	社会	教諭
木村義治	男	〃 加悦谷高等学校	社会	教諭
東南次郎	男	京都学芸大学附属桃山中学校	国語・社会	文部教官
滝木浩	男	京都学芸大学附属中学校	社会	文部教官
松田克己	男	与謝郡宮津中学校	社会・図工	教諭
河北嘉一郎	男	〃 橋立中学校	社会・国語	校長
江原彌一	男	〃 加悦谷第一中学校	国語	教頭
出野三次	男	綾部市教育課	社会	嘱託
三宅弘	男	京都府立水産高等学校	社会・英語	教諭

第四部会　生徒指導の技術

問題児の指導技術は如何にあるべきか

◎デモンストレーション計画

28日（木）九条中学校

8.30— 9.30　実演計画の説明
- (イ) 学校長及指導委員長の指導概要と経過の説明
- (ロ) 校内参観

9.30—10.30　事例研究の協議会（委員長以下7名出席）
- (イ) 問題児の提示（2ケース）
- (ロ) 質疑応答及び討議
- (ハ) 指導計画の立案

10.30—11.30　指導の実際
- (イ) 指導計画に基き教師と学級委員とが実施の具体案を討議
- (ロ) 学習活動中における指導
  - (1) (イ)の具体案により，学級委員を中心として学級生徒の役割を決定する
  - (2) スポーツ競技を行う
  - (3) 反省と今後の計画の協議

◎学習指導者

有馬教諭　外数名

◎デモンストレーション実施校

京都市立九条中学校

京都市下京区西九条南小路町10（電話下416番）

市電　東寺東門前下車　東入ル下ル

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
青木ミキ	女	郡山町郡山中学校	社会	教諭
小野恵美男	男	郡山町県立郡山高等学校	社会	教諭
上田輝典	男	奈良市学芸大附属中	数学	教諭
上杉是	男	奈良県教委指導課		指導主事
（三重）				
今村房	女	三重県立津高等学校	家庭	教諭
駒田敏夫	男	河芸郡椋本中学校	社会	教諭
川口登子	女	上野市桃青中学校	国語・保健	教諭
鈴木文幸	男	三重大学学芸学部附属松阪中学校	保健・体育職業	教諭
鈴木孝蔵	男	桑名市明正中学校	社会	教諭
（和歌山）				
小阪重一	男	和歌山県立粉河高等学校	国語	教諭
橋本百松	男	東牟婁郡那智中学校	理科	教諭
（兵庫）				
竹村清治	男	氷上郡山東中学校	社会・国語工作	教諭
高田正太郎	男	姫路市琴陵中学校	社会	教諭
竜見譲	男	兵庫県立加古川東高等学校	社会	教諭
福田武夫	男	兵庫県教委学校指導課	理科	主事
（滋賀）				
村田四郎	男	甲陽中学校	理科	教諭
筒井寅夫	男	水口中学校	数学	教諭
道端泰介	男	滋賀県教委		主事
（大阪）				
早瀬俊夫	男	大阪府教委指導室	英語	嘱託
福井兼太郎	男	布施市立第四中学校	国語・保健・体育	教諭
山崎豊記	男	大阪府立寝屋川高等学校	社会	教諭
岩本修	男	大阪市立本庄中学校	数学	教諭
藤本幸一	男	大阪市立泉尾第二工業高等学校	社会	教諭
（京都）				

玉井康之	男	京都市私立大谷高等学校	社会・国語
大棚誠一	男	京都市立陶化中学校	国語
林幸男	男	〃 彌栄中学校	社会
寺田昌	男	京都市教育研究所	
竹岡正夫	男	京都府立亀岡高等学校	国語
渡辺忠夫	男	綾部市綾部中学校	国語
福井宇吉	男	京都府教育研究所	ガイダンス
村上常一	男	綾部市何北中学校	国語

教諭
教諭
教諭
教諭
教諭
教諭
教諭
教諭

第五部会　生徒指導のためのレクリエーション計畫

生徒指導のためのレクリエーションにはどんな種類のものが考えられ如何なる方法で行わるべきか。
（特に情操教育の立場から）

◎日　　程

日	曜	八・三〇	九・〇〇	九・三〇	一〇・〇〇	一〇・三〇	一二・〇〇	一二・三〇	一二・四五	一三・一五	一三・三〇	一三・〇〇	一三・三〇	一四・三〇	一五・三〇	一六・〇〇	一六・三〇
26	火		開会式	講演 C.I.E.		日程説明	会員自己紹介 指導官挨拶 資料交換		R		L	運営方針，研究題目，日程について協議				R
27	水	講演（下程 京大）			レクリエーション指導の必要と意義について				R		L	中学校，高等学校生徒に適当なレクリエーション活動にはどんなものがあるか				R
28	木	仕方と評価の説明	実演授業		授業研究会		同				L	同				R
29	金	講演（佐々木 京大）			レクリエーション指導の計画と運営の組織はどのようにしたらよいか				R		L	小学校参観（朱六小）				
30	土	同							R		L	レクリエーションを通じて学校—地域社会の相互関係を好ましく発達させるにはどうしたらよいか				
1	日	講演（有賀 京大）			同				R		L	報告書の作成				
2	火	同			研究報告会 質疑応答		閉会				L	府県別事後計画　解散				

◎デモンストレーション計画

28日(木)二条中学校

8.30— 9.00	授業説明と評価の仕方
9.00—10.00	実演授業
10.00—11.00	授業研究会
11.00—12.15	班別研究
13.00—16.30	班別研究

◎学習指導者

3学年2組　幻燈設備をどう活用したらよいか　水谷清三教諭

◎デモンストレーション実施校

京都市立二条中学校

上京区智恵光院竹屋町下ル（電話壬生1535・2500番）

市電　千本線出世稲荷前下車　東入ル二丁

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
(奈良)				
藤井憲司	男	奈良市学芸大附属中	保健・体育	教諭
小池順逸	男	奈良県教委社会教育課		主事
志野広	女	奈良県磯城郡朝倉中学校	国語・社会	教諭
(三重)				
平山真吾	男	三重県立尾鷲高等学校	体育	教諭
中川政幸	男	一志郡久居中学校	数学・理科	教諭
上部三重子	女	志摩郡鳥羽中学校	体育・工作	教諭
(和歌山)				
山本節	女	西牟婁郡江住中学校	音楽・体育	教諭
坂中敏次	男	那賀郡荒川中学校	体育・理科	教諭
(兵庫)				
横野婦美子	女	宍栗郡山崎中学校	音楽	教諭
杢谷舜造	男	兵庫県立芦屋高等学校	国語	教諭
野崎倉仁	男	兵庫県教委学校指導課	英語	指導主事
(滋賀)				
真嶋道雄	男	滋賀中央中学校	国語	教諭
益野千代	女	大津高等学校	家庭	教諭
原口清一	男	滋賀県教委	理科	指導主事

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (d), NAS NO.

(大　阪)			
久保田八郎	男	北河内郡交野町立中学校	農業校長
松本　勤	男	大阪市立高等学校	生物教諭
沢農利勝	男	大阪市立南稜中学校	体育教諭
中尾次郎吉	男	大阪府立住吉高等学校	英語教諭
(京　都)			
大橋誠宏	男	京都市私立華頂女子高等学校	社会教諭
松野八太郎	男	京都市立西ノ京中学校	理科教諭
鴫原魁子	女	〃　洛東中学校	国語教諭
水谷清三	男	〃　二条中学校	社会教諭
深井隆三	男	京都府立鴨沂高等学校	保健・体育教諭
川島美代	女	〃　木津高等学校	国語教諭
西村正富	男	相楽郡精華中学校	社会校長
福永正三	男	〃　木津中学校	社会・国語教諭
松岡秋夫	男	〃　上狛中学校	図工・社会教諭

第六部会　特別教育活動

特別教育活動の有効な計画とその実施方法

◎デモンストレーション計画

28日(木)

二条中学校

8.30— 9.00	授業説明と評価の仕方
9.00—10.00	実演授業
10.00—11.00	授業研究会
11.00—11.45	昼食
11.45—12.30	移動

洛北高等学校

12.30—13.00	授業説明
13.00—14.50	実演授業
14.50—16.30	授業研究会

◎学習指導者

二条中学校

1年4組　ホームルーム	よい中学生としての資質	人見節男教諭
生徒会中央委員会	校内の風紀はよくなつたか	田中佳夫教諭

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO.

洛北高等学校

1年3組	ホームルーム	規律ある学校	林正次郎教諭
2年7組	ホームルーム	規律ある学校	小畠　洋教諭
3年8組	ホームルーム		米田　穫教諭

◎デモンストレーション実施校

京都市立二条中学校

京都市上京区智恵光院竹屋町下ル（電話壬生1535・2500番）

市電　千本線出世稲荷前下車　東入ル

京都府立洛北高等学校

京都市左京区下鴨梅ノ木町（電話上51番）

市電　北大路洛北高校前下車　上ル

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
松本　昭	男	添上郡葛本中学校	体育・国語	教諭
宮本淳子	女	磯城郡県立田原本高等学校	家庭	教諭
尾上正弘	男	南葛城郡県立御所高等学校	社会・工業	教諭
荒谷忠雄	男	奈良県教委学務課		主事
渡辺仁治	男	奈良市女子大附属中	理科	教諭
今本勝造	男	山辺郡都介野中学校	国語・社会・英語	教諭
（三重）				
中西登志子	女	三重県立亀山高等学校	家庭	教諭
世古口民三	男	多気郡三和中学校		校長
田中キミ子	女	宇治山田市宮川中学校	音楽・家庭	教諭
山川　完	男	三重県教委学校教育課		主事
（和歌山）				
平内義保	男	和歌山市桐蔭高等学校	理科	教諭
戸口利勝	男	和歌山県教委指導課	音楽・国語	指導主事
（兵庫）				
宮谷せつ子	女	養父郡八鹿中学校	数学・社会	教諭
近田　勇	男	加東郡中東条中学校	数学	教諭
司波幸作	男	赤穂郡赤穂中学校	国語・習字	教諭
鈴木広次	男	兵庫県立豊岡高等学校	英語	教諭

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO.

(滋　賀)					
木本寛治	男	県立八幡高等学校	商業	教諭	
橋野英潤	男	蒲生郡八幡中学校	数学	教諭	
服部義雄	男	大津市教委		指導主事	
増井金典	男	滋賀大学附属中学校	国語	教諭	
(大　阪)					
稲井恒子	女	大阪府教委指導室	数学	指導主事	
八田英次	男	大阪市教委	社会	教諭	
高丘哲夫	男	大阪市立天王寺商業高等学校	英語	教諭	
油田一郎	男	堺市立金岡中学校	理科	教諭	
新田日出夫	男	泉南郡山之井中学校	理科	教諭	
馬淵利雄	男	豊中市立第二中学校	国語	教諭	
(京　都)					
柳田遑映	男	京都市私立立命館高等学校	社会	教諭	
長浜政恵	女	京都市立城巽中学校	国語	教諭	
塩見喜一	男	京都市立西院中学校	理科	教諭	
高橋史郎	男	京都市教育研究所		所員	
津守亮	男	京都府立北桑田高等学校	国語	教諭	
寺本慙	男	京都学芸大学附属桃山中学校	国語・体育	教諭	
三宅一輔	男	京都府立嵯峨野高等学校	社会	教諭	
卯滝秀雄	男	北桑田郡周山中学校	社会・職業	教諭	
迫田文明	男	北桑田郡北部中学校	数学	教諭	

第七部会　学校保健

学校保健の目的を達成するためには如何に環境を整うべきか。
学校保健計画について。

◎デモンストレーション計画

28日（木）柳池中学校

8.30— 9.20	全校公開（自由見学）
9.25—10.15	健康教育（中心授業）
10.25—10.40	保健クラブ活動
10.40—12.00	学校保健委員会公開
13.00—16.30	班別研究

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 102/NNBS NO.

◎学習指導者

2学年1組（保体）都会生活と結核に就いて調べよう。　安成行雄教諭

◎デモンストレーション実施校

京都市立柳池中学校

中京区御池柳馬場町東入（電話本局4260番）

市電　河原町三条下車西入ル・烏丸三条下車東入ル

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
阪本和子	女	奈良市春日中学校	職業・家庭	教諭
鎌田禎子	女	奈良市三笠中学校	理科・職業家庭	教諭
森本安昌	男	磯城郡式下中学校	社会・体育	教諭
南　修子	女	北葛城郡香芝中学校		教諭
大喜田　昇	男	郡山町県立郡山高等学校	生物	教諭
中川彦夫	男	奈良市学芸大附属中	体育	教諭
（三重）				
大橋富代	女	松阪市鎌田中学校	保健・体育家庭	教諭
織家謙一	男	度会郡小俣中学校	保健・体育	教諭
岩田幸夫	男	桑名市光風中学校	保健・体育数学	教諭
小林良雄	男	三重県教委学校教育課		主事
（和歌山）				
北本てる子	女	和歌山県教委伊都地方教育局	国語・家庭	主事
（兵庫）				
堀川康夫	男	東光中学校（市学務課）	保健・体育	教諭（視学員）
小原国彦	男	印南郡松陽中学校	理科・保健	教諭
西坂照美	女	佐用郡佐用中学校	家庭	教諭
森西正男	男	兵庫県教委体育保健課	保健	主事
（滋賀）				
北村謙次	男	県立瀬田高等学校	工業	教諭
古田良枝	女	草津中学校	国語	教諭
寺元　薫	男	滋賀県教委		技師

DECLASSIFIED E.O. 11652 SECTION 3 (E)(1)(B) NLJ 02-

（大　阪）				
河内山英雄	男	泉北郡忠岡中学校	社　会	校　長
丸岡隆二	男	大阪府教委保健体育課	保　健	嘱　託
古賀恒彦	男	大阪府立三島野高等学校	保健・体育	教　諭
東野兵次	男	大阪市教委	保　健	指導主事
森　利一	男	大阪市立天王寺中学校	保健・体育	教　諭
（京　都）				
酒井渉子	女	京都市私立平安女学院高等学校	家　庭	教　諭
高山五郎	男	京都市立上京中学校		教　諭
重道公恵子	女	〃　八条中学校	保健・体育	教　諭
小西　貞	男	京都市立柳池中学校		校　長
栗田正男	男	京都府立城南高等学校	保健・体育	教　諭
梅原俊一	男	京都市立日吉ヶ丘高等学校	体　育	講　師
瀬口　満	男	綴喜郡男山中学校	保健・体育	校　長
新井一夫	男	〃　田辺中学校	保健・体育	教　諭
八木伊佐美	男	乙訓郡乙訓中学校	保健・体育	教　諭

第八部会　　地域社会と学校

学校と地域社会の協力は具体的にどうすればよいか

◎デモンストレーション計画

２８日（木）木津高等学校

9.00— 9.30	授業説明と評価の仕方
9.30—10.30	実演授業
10.30—12.30	諮問委員会参観
13.00—14.00	レクリエーション
14.00—16.00	授業研究会

◎学習指導者

木津町婦人団体20名　　調理の応用　　富岡君子教諭
多気陽子教諭

◎デモンストレーション実施校

京都府立木津高等学校
京都府相楽郡木津町内田山
京都駅より国鉄奈良線木津駅下車（徒歩約10分）

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNSS NO.

京都駅より奈良電車山田川下車　バスにて国鉄木津駅下車

国鉄時間表

京都駅発	6.35	8.40	木津駅発	16.43	18.15
木津駅着	7.46	9.45	京都駅着	17.46	19.23

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
(奈良)				
北村親雄	男	吉野郡国樔中学校		校長
中条巖	男	奈良県教委地方事務局		主事
千賀庄信	男	奈良県教委学務課		主事
(三重)				
寺原妙子	女	三重県立鵜方高等学校	家庭	教諭
世古清三	男	志摩郡磯部中学校		校長
山本正則	男	三重県教委学校教育課		主事
(和歌山)				
山東正晴	男	海草郡加太中学校	図工・社会	校長
松本新一郎	男	和歌山県教委指導課	国語・社会	主事
(兵庫)				
吉田伊雄	男	加西郡富田中学校		校長
辻博	男	神戸市生田中学校	社会	教諭
橋本美智子	女	兵庫県立津名高等学校	家庭	教諭
(滋賀)				
大江利雄	男	湖西中学校	社会・国語	教諭
山本民子	女	湖南中学校	国語・英語	教諭
滝上義国	男	長浜市教委		指導主事
(大阪)				
辻野準一	男	南河内郡高鷲村立中学校	社会	教諭
井上正己	男	岸和田市教委	社会	指導主事
菅原好子	女	大阪市教委	家庭	指導主事
松本俤三郎	男	大阪市立堇中学校	社会	教諭
(京都)				
竹田広	男	京都市私立家政学園中学校	社会	教諭

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

水山光高	男	京都市立皆山中学校	社会	校長
東　伝夫	男	〃　郁文中学校	社会	教諭
坊　正平	男	京都府立木津高等学校	社会	主事
天野　主	男	〃　福知山高等学校	社会	教諭
小森健吉	男	京都市立日吉ヶ丘高等学校	社会	教諭
杉山典男	男	京都府立河守高等学校	社会	教諭
鈴木　寛	男	加佐郡大江中学校	英語	校長
山本幸雄	男	京都府教育研究所	カリキュラム	所員
菅沼佐市	男	福知山市南陵中学校	社会	教頭
加藤登志子	女	天田郡六人部中学校	保健・体育	教諭

第九部会　国際的理解の教育

国際的理解を深めるための教育は如何にあるべきか

◎デモンストレーション計画

２８日（木）四条中学校

8.30— 8.50	授業説明
8.50— 9.40	全校公開授業
9.50—10.40	実演授業
10.50—12.15	授業研究会

◎学習指導者

1年8組	英語	Jack and Betty, Book 1. Lesson 7	田中耕一教諭
2年2組	社会	世界の人々の衣食住の様式はそれぞれの土地の自然とどのように結びついているか	辻　正教諭

◎デモンストレーション実施校

京都市立四条中学校

京都市右京区西院馬場町（電話壬生40番）

市電　西大路四条下車　西入ル

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
西岡淑雄	男	高市郡畝傍高等学校	英語	教諭

平井日出雄	男	奈良県教委地方事務局		主事
今沢光雄	男	奈良県教委社会教育課		主事
沢田稔	男	奈良市学芸大附属中	英語	教諭
中川彰	男	奈良県立一条高等学校	社会	教諭
伊藤英夫	男	奈良県立一条高等学校	英語	教諭
(三重)				
高島俊幸	男	阿山郡霊峯中学校	理科	教諭
元原きみ	女	一志郡嬉野中学校	音楽・習字	教諭
野田彦三郎	演	三重県教委学校教育課		指導主事
(和歌山)				
佐山武夫	男	有田郡耐久高等学校	英語	校長
玉置練太郎	男	日高郡大成中学校	社会	教諭
(兵庫)				
上田誠一郎	男	神戸市教委	工業	指導員
春名楠四郎	男	佐用郡利神中学校		校長
横山道男	男	兵庫県立長田高等学校	社会	教諭
三浦欣一	男	兵庫県教委学校指導課	社会	主事
上田誠一郎	男	神戸市指導員（神戸工業）		
(滋賀)				
泉堯	男	愛知高等学校	外国語	教諭
田中源三	男	愛知郡愛知中学校	社会	教諭
横井正治	男	滋賀県教委	社会	指導主事
(大阪)				
岡村喜熊	男	枚方市立第一中学校	英語	校長
北田慰子	女	大阪府教委指導室	社会	指導主事
佐々木克夫	男	大阪府教委社会教育課	社会	主事補
多田義雄	男	泉北郡南池田村立中学校	社会	校長
岡崎悌雄	男	大阪市教委	英語	指導主事
能網昇吾	男	大阪市立梅香中学校	音楽	教諭
島田徳一	男	大阪府立八尾高等学校	国語	教諭
(京都)				
吉村正男	男	京都市私立精華女子高等学校	英語	教諭
松下建市	男	京都市立銅駝中学校		校長
加藤純子	女	京都市立岡崎中学校	社会	教諭

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (d), WHEN NOT

上野陽平	男	〃 四条中学校	体育・音楽	教諭
富田民蔵	男	京都府立朱雀高等学校	社会	教諭
浅井敬太郎	男	〃 桂高等学校	理科	教諭
稲穂重夫	男	宇治市東宇治中学校	社会	教諭

第十部会　職業家庭科

1. 職業家庭科における基礎能力について
2. 職業家庭科の施設・設備の基準とその充実方法について

◎デモンストレーション計画

28日（木）松原中学校

8.30— 9.00	授業説明と評価の仕方
9.10—10.00	実演授業（製図，計算）
10.10—11.00	実演授業（調理，経営記帳，文書事務）
11.10—12.00	授業研究会
12.00—13.00	昼食
13.00—16.30	部会研究

◎学習指導者

3年 男	製図（ボルト，ナット）	吉田誠治教諭
1年7,8組 男	珠算　頭乗法はどうすればよいか	小川芳春教諭
1年5,6組 女	調理　私たちのたべ物	福田志津子教諭
3年5,6組 男	経営記帳　営業用帳簿のつくり方	田中真三郎教諭
3年1,2,3,4組A	文書事務　タイプ操作　印書実習	藤田カツ子教諭

◎デモンストレーション実施校

京都市立松原中学校

京都市中京区壬生相合町（電話壬生650番）

市電　大宮松原下車　西入ル

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
増田益隆	男	宇智郡野原中学校	職業・家庭	教諭

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS No.

出垣内英作	男	内陀郡内牧中学校		校長
藤沢繁子	女	シキ郡田原本中学校	家庭	教諭
荻原志津江	女	高市郡畝傍中学校	職業・家庭	教諭
(三重)				
藤田きく	女	員弁郡協和中学校	音楽・家庭	教諭
田中政郎	男	北牟婁郡紀北中学校	職業・社会	教諭
中西千枝子	女	南牟婁郡木ノ本中学校	職業・家庭	教諭
(和歌山)				
吉本美枝	女	東平野郡古左中学校	職業・家庭・音楽	教諭
池本多満留	男	和歌山県教委指導課	社会	主事
(兵庫)				
杉本秀応	男	宍栗郡三土中学校	社会	校長
原田証	男	加西郡九会中学校	職業・家庭	教諭
土田久子	女	氷上郡竹山中学校	職業	教諭
中岡まさゑ	女	有馬郡長坂中学校	家庭・職業	教諭
須甲磯蔵	男	兵庫県教委学校指導課	農業	主事
(滋賀)				
日比弘二	男	長浜南中学校	職業・家庭	教諭
金経すての	女	米原中学校	職業・家庭	教諭
庄田秋栄	女	滋賀大学附属中学校	職業・家庭	教諭
(大阪)				
浅川好收	男	豊能郡止々呂美中学校	職業・家庭	校長
辻野正信	男	南河内郡高向村立中学校	職業・家庭	教諭
渡辺嘉寿	女	大阪府教委指導室	職業・家庭	指導主事
原田花子	女	大阪府教育研究所	職業・家庭	研究員
布施マサ	女	大阪市立昭和中学校	職業・家庭	教諭
松井一雄	男	大阪市立教育研究所	職業・家庭	研究員
(京都)				
近藤昌子	女	京都市私立精華女子中学校	家庭	教諭
井川博	男	京都市立九条中学校	職業・家庭	教諭
北条豊三	男	〃 近衛中学校	職業・家庭	教諭
中島かよ	女	〃 城巽中学校	職業・家庭	教諭
河原林仙司	男	南桑田郡高田中学校	職業・理科	教諭

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS No.

中島秀雄	男	〃	南桑中学校	数学・職業	教諭
沼田一枝	女	〃	亀岡中学校	家庭・保健	教諭

第十一部会　農業教育

総合農業のあり方について

◎デモンストレーション計画

28日(木)木津高等学校

9.00— 9.30	授業説明と評価の仕方	
9.30—11.30	実演授業	
11.30—12.30	農業諮問委員会	見学
	ホームプロジエクト	見学
12.30—13.00	昼食	
13.00—14.00	レクリエーション	
14.00—16.00	授業研究会	

◎学習指導者

1年	果菜類特に西瓜の生育状態によつて施肥を研究してみよう	吉谷源太郎教諭
2年	桃の夏季剪定はどのようにしたらよいか	岡本　衛教諭
3年	麦の収穫調製に於て農機具をどのように取入れたらよいか	花田　高昭教諭

◎デモンストレーション実施校

京都府立木津高等学校

京都府相楽郡木津町内田山

京都駅より国鉄奈良線木津駅下車（徒歩約10分）

京都駅より奈良電車山田川下車バスにて国鉄木津駅下車

国鉄時間表

京都駅発	6.35	8.40	木津駅発	16.43	18.15
木津駅着	7.46	9.45	京都駅着	17.46	19.23

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
(奈良)				
竹上文雄	男	磯城郡田原本高等学校	農業	教諭

DECLASSIFIED E.O. 12033 SECTION 3 402/NNBS NO.

阿部　啓	男	奈良県教委指導課	職業	指導主事
(三　重)				
佐川　勇	男	三重県立磯部高等学校		校長
川村正夫	男	三重県立明野高等学校	農業	教諭
(和歌山)				
浜中嘉之	男	日高郡南部高等学校	農業・理科	教諭
原田佳春	男	和歌山県教委指導課	農業・理科	主事
(兵　庫)				
永田安富	男	兵庫県立淡路農業高等学校	畜産	教諭
原田春男	男	兵庫県立有馬高等学校	耕種	教諭
小河　通	男	兵庫県立佐用高等学校	農産加工	教諭
(滋　賀)				
谷口新一	男	草津高等学校	農業	教諭
三木礼三	男	長浜高等学校	農業	教諭
鎌田友之	男	滋賀県教委	農業	指導主事
(大　阪)				
川崎熙之	男	大阪府立貝塚高等学校	農業	教諭
山崎太郎	男	大阪府教委指導室	農業	指導主事
佐藤秀吉	男	大阪府立園芸高等学校	農業	教諭
中来田康三	男	大阪府立農芸高等学校	農業	教諭
(京　都)				
芦田久雄	男	京都府立綾部高等学校	農業	教諭
本城　稔	男	〃　木津高等学校	農業	教諭
神田徳治	男	綾部市立東八田高等学校	農業	教諭
阿波　保	男	京都府立福知山高等学校	農業	教諭

第十二部会　工業教育

職業分析の結果の学習指導における適用について

◎日　程

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

日	曜	八・三〇	九・〇〇	九・三〇	一〇・〇〇	一〇・三〇	一一・〇〇	一一・四五	一二・一五	一三・〇〇	一四・〇〇	一四・三〇	一六・三〇
26	火		開会	Lec		日程説明	挨拶自己紹介	R	L	資料交換 運営方針協議			
27	水	Lec			事前調査に就いての説明及び研究			R	L	午前に同じ			
28	木	説明	実演授業		授業研究		授業研究		L	「機械の手仕上作業」に関する研究			
29	金	Lec			「機械の手仕上作業」に関する研究			R	L	参観			
30	土	「木工」に関する研究						R	L	午前に同じ			
1	日	Lec			「各学校で当面している問題」の研究			R	L	報告書の作成			
2	月	「今後の工業教育の在り方」に就いて			報告会		閉会		L	事後計画	解散		

◎デモンストレーション実施校

京都市立洛陽高等学校

京都市下京区唐橋大宮尻町（電話下1300・6604番）

市電　洛陽高校前下車　上ル

国鉄　西大路駅下車（徒歩5分）

◎学習指導者

2年　手仕上作業　　三村富次郎教諭

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
大西　昊	男	奈良県立奈良高等学校	機械	教諭
（三重）				
永井口　三亀郎	男	三重県立松阪北高等学校		校長

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO.

井村鋼一郎	男	三重県立上野商工高等学校	工業	教諭
長谷川道夫	男	三重県教委学校教育課		指導主事
(和歌山)				
久保正一	男	日高郡日高高等学校	工業(機械)	教諭
都築義清	男	和歌山市光風高等学校	工業(木工)	教諭
(兵庫)				
石本勇造	男	兵庫県立飾磨工業高等学校	機械	校長
渡辺修吉	男	兵庫県立小野工業高等学校	機械	教諭
森崎昌二	男	兵庫県立竜野実業高等学校	木材・工芸	教諭
榊貞之	男	兵庫県教委学校指導課	工業	主事
(滋賀)				
渋谷俊一	男	滋賀県立彦根高等学校	工業	教諭
大熊利久	男	滋賀県立瀬田高等学校	工業	教諭
(大阪)				
小林良夫	男	大阪府教委指導室	機械	教諭
塩見正夫	男	大阪府立西野田工業高等学校	木材・工芸	教諭
高橋久雄	男	大阪府立今宮工業高等学校	機械	教諭
岡悌雄	男	大阪市教委	工業	指導主事
西野茂	男	大阪市立生野工業高等学校	木材・工芸	教諭
児玉円二	男	堺市立工業高等学校	金属	教諭
(京都)				
引野精一	男	京都府立峰山高等学校	工業(機械)	教諭
三村富次郎	男	京都市立洛陽高等学校	工業(機械)	教諭
石橋敏郎	男	〃 洛陽高等学校	工業(機械)	教諭
磯貝勇	男	京都府立綾部高等学校	機械	教諭
真木稔夫	男	京都市立伏見高等学校	建築	教諭

第十三部会　商業教育

1. 新しい学習指導要領について
2. 商業実務の学校商業教育への導入について

◎デモンストレーション計画

28日(木) 桃山高等学校

8.30— 9.00	授業説明
9.00—10.00	実演授業
10.00—11.00	授業研究
11.00—12.00	討議
12.00—13.00	昼食
13.00—16.30	見学

◎学習指導者

3年　商業実務実習を如何にして学校教育の中にとり入れるか　　藪内権治郎教諭

◎デモンストレーション実施校

京都府立桃山高等学校

京都市伏見区桃山町毛利長門（電話伏見437番）

京阪電車
奈良電車　丹波橋下車（徒歩10分）

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
堀本明夫	男	奈良県立大和高田市高田高等学校	商業	教諭
（三重）				
大西保夫	男	三重県立松阪南高等学校	商業	教諭
（和歌山）				
辻野勘治	男	和歌山県立商業高等学校	商業	教諭
萩原侃	男	和歌山県教委指導課	商業	指導主事
（兵庫）				
栃木勇	男	神戸市立神竜高等学校	経営	教諭
中野英雄	男	兵庫県立竜野実業高等学校	簿記	教諭
越後庄吉	男	尼崎市立城内高等学校	法規・簿記	教諭
生田英一	男	兵庫県教委学校指導課	商業	主事
（滋賀）				
宮川栄一郎	男	滋賀県愛知高等学校	商業	教諭
和田俊二	男	〃　彦根高等学校	商業	教諭
山田清一	男	滋賀県教委		主事

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (d), NAME NO.

（大　阪）

河村光男	男	関西大倉高等学校	商業・経済	教諭
梶　敬一郎	男	大阪府立四条畷中学校	商業	教諭
西脇信良	男	大阪市立西高等学校	商業	教諭
高島　清	男	大阪市立扇町商業高等学校	商業	教諭

（京　都）

長谷川　敬	男	京都市私立京都商業高等学校	簿記	教諭
藤田一郎	男	京都府立福知山高等学校	商業	教諭
藪内権治郎	男	〃　桃山高等学校	商業	教諭
前田辰平	男	〃　桃山高等学校	商業	教諭
池本利雄	男	京都市立堀川高等学校	商業	教諭

第十四部会　家庭科教育

一般家庭の内容及びその指導法の検討

家族関係の指導内容

◎デモンストレーション計画

28日（木）鴨沂高等学校

9.00—9.30	授業説明
9.30—10.30	実演授業
10.30—11.30	クラブ活動
11.30—12.00	レクリエーション
12.00—13.00	昼食
13.00—14.30	授業研究会
14.30—16.30	よき指導法の実例発表（各府県15分宛）

◎学習指導者

2年	一般家庭　食物コース 間取り……台所	羽柴彰子教諭
3年	育児　姙娠及出産	水梨サワ子教諭
3年	家庭クラブ　調理講習のための準備	長岡　正教諭

◎デモンストレーション実施校

京都府立鴨沂高等学校

京都市上京区寺町通荒神口下ル（電話上111番）

DECLASSIFIED E.O. 11652 SECTION 5 (E)(2) NND 947

市電　河原町荒神口下車　西入ル　（徒歩２分）
　　河原町丸太町下車　西入ル上ル（徒歩５分）

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
（奈良）				
藤沢キミエ	女	奈良女子大学	家庭	助教授
庄司リヨ	女	奈良県立郡山高等学校	家庭	教諭
（三重）				
森浜チヨ	女	三重県立上野高等学校	家庭	教諭
梅本あき	女	三重県立四日市高等学校	家庭	教諭
杉山みさを	女	三重大学学芸学部附属高等学校	家庭	教諭
（和歌山）				
岩橋勇	男	和歌山県教委指導課	社会	指導主事
小菅ふみ子	女	田辺市田辺高等学校	家庭	教諭
（兵庫）				
前原きよみ	女	兵庫県立三原高等学校	家庭	教諭
浜屋迪世	女	篠山農業高等学校	家庭	教諭
門田楠子	女	伊丹市立高等学校	家庭	教諭
立石睦子	女	兵庫県教委学校指導課	家庭	主事
（滋賀）				
園田すが	女	滋賀県立草津高等学校	家庭	教諭
石井寿子	女	滋賀県立甲賀高等学校	家庭	教諭
（大阪）				
岸谷誠一	男	大阪府立桜塚高等学校	国語	校長
菅千代子	女	大阪府立池田高等学校	家庭	教諭
佐々木克	女	大阪市私立樟蔭高等学校	家庭	教諭
佐川寿恵子	女	大阪市立扇町高等学校	家庭	教諭
村岡多恵	女	大阪府立大手前高等学校	家庭	教諭
（京都）				
岡本典子	女	私立京都女子高等学校	家庭	教諭
荒木稔子	女	京都府立山城高等学校	家庭	教諭
宮脇繁雄	男	〃　朱雀高等学校		校長
神原菊枝	女	〃　西舞鶴高等学校	家庭	教諭

水梨サワ子	女	〃	鴨沂高等学校	家庭	教諭
野村カツ	女	京都市立	伏見高等学校	家庭	教諭
名合昇	女	〃	堀川高等学校	家庭	教諭

第十五部会　職業指導

1. 中等学校における職業指導並びに計画
2. 啓発的経験を通じていかにすれば適性を知り得るか

◎デモンストレーション計画

28日(木) 朱雀高等学校

8.30— 9.00	授業説明
9.00—10.00	実演授業
10.00—11.00	授業研究会
11.00—12.15	討議

◎学習指導者

1年2, 4組　ホーム・ルーム

適性を分析調査して見よう　多田楠太郎教諭

◎デモンストレーション実施校

京都府立朱雀高等学校

京都市中京区西ノ京式部町（電話壬生127・646番）

市電 {千本線 出世稲荷下車 東入ル
{丸太町線 医師会前下車 西入ル下ル

◎参加者名簿

氏名	性別	所属	担当教科	職名
(奈良)				
道下佐一郎	男	奈良県立奈良高等学校	数学	教諭
川口忠太郎	男	生駒郡桐中学校	職業指導	校長
岸田富義	男	生駒郡伏見中学校	理科	教諭
(三重)				
北田正夫	男	三重県立津実業高等学校	商業	教諭
坂上長十郎	男	四日市南中学校		校長
東山文太郎	男	三重大学学芸学部附属中学校	職業	教諭

(和歌山)				
笹内敏晴	男	新宮市新宮高等学校	数学	教諭
石橋英敏	男	和歌山市教委教育課	職業	視学嘱託
(兵庫)				
本庄幸太郎	男	氷上郡山南中学校	社会・国語	校長
福本繁	男	赤穂郡矢野中学校	職業・社会	教諭
斎藤実夫	男	洲本市青葉中学校	職業	教諭
井上又蔵	男	姫路市立高田中学校	職業指導	教諭
三村清八	男	兵庫県教委学校指導課	職業	主事
溝川良一	男	兵庫県教育研究所	職業指導	所員
(滋賀)				
山口利一	男	栗原中学校	職業・家庭	教諭
本池徳治	男	長浜高等学校	農業	教諭
(大阪)				
山田泰夫	男	大阪府教委中河内出張所		嘱託
西本英治	男	大阪府教委指導室	職業・家庭	指導主事
藤原実	男	吹田市立第二中学校	職業・家庭	教諭
佐藤弘毅	男	中河内郡盾津町立中学校	職業・家庭	教諭
渡辺賢一	男	大阪市立工芸高等学校	図案	教諭
川村市兵衛	男	大阪市立西今里中学校	職業・家庭	校長
岩川昭二	男	堺市立殿馬場中学校	職業・家庭	教諭
入谷唯一郎	男	大阪府立春日丘高等学校	英語・職業	教諭
(京都)				
森島彌一郎	男	京都市私立平安高等学校	商業	教諭
南田重男	男	京都市立梅逕中学校	職業・家庭	教諭
堅達喜美子	女	〃 洛東中学校	家庭・国語	教諭
森美信	男	京都府立網野高等学校	社会	教諭
田中孝子	男	京都府立久美浜高等学校	農業	教諭
山本久三郎	男	京都市立西京高等学校	商業	教諭
吉田英男	男	竹野郡網野中学校		校長
後藤辰次郎	男	中郡大野中学校	社会	教諭
角田郁雄	男	熊野郡高竜中学校	社会・職業	教諭
井上知行	男	中郡峯山中学校	職業	教諭

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

12. 徽章及び色分け表

C. I. E. 指導官		赤 バ ラ 大
C. I. E. 通訳		赤 バ ラ 中
来賓		白 バ ラ 大
指導者		白 バ ラ 中
開催地教育長		桃 バ ラ 大
本部		桃 バ ラ 中
会場校長		黄 バ ラ 中
本部ヅキ		桃 リ ボ ン
庶務係	(企画班・会計班・宿泊班・売店班・施設班)	赤 リ ボ ン
連絡文書係	(連絡班・写真印刷班・編輯記録班・飜訳班)	黄 リ ボ ン
レクリエーション係		白 リ ボ ン
会場係	(会場班・清掃班・警備班・書き物掲示班・放送班・衛生班)	青 リ ボ ン
受付接待係	(会員班・来賓班)	緑 リ ボ ン
展示係	(図書班・資料班)	桃白リボン
生徒係		紫 リ ボ ン

◎参加府縣色分け

大阪府	黄
三重県	青
奈良県	緑
滋賀県	赤
和歌山県	桃
兵庫県	白
京都府	紫

13. 宿舎表

◎文部省

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (d), WAIVED NO.

日昇館別館	中京区三条富小路西	電話本局216・253
	市電 河原町三条下車 西入ル	

◎奈良，和歌山，三重

日昇館新館	中京区蛸薬師高倉西角	電話本局161・162
	市電 大丸前下車 上ル	

◎兵庫，滋賀

日昇館本館	中京区三条大橋東	電話吉田1143・3368
	市電 河原町三条下車 東入ル 東山三条下車 西入ル	

◎京都

丸家旅館	左京区聖護院川原町	電話吉田2104
	市電 熊野下車 上ル西入ル	

◎大阪

共済組合宿泊所（嵯峨） 旧花の家旅館	右京区嵯峨角倉町	電話嵯峨 671

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (E)(1)(D) NND 963051

— MEMO —

Kinki Secondary Education
Workshop.
26 June — 2 July
at Nijo 255, Kyoto City.

27 June:

① Panel Discussion on "Problems of Secondary Education".

Members:
Dr. Shitahide. Kyoto Univ.
Mr. Kataoka. "
Mr. Kurotobi. "
Mr. Izaka, Mombusho.

② Groups Discussion:

Group 4. "Technique of Guidance"
~~divided~~ into following sub-groups.
Test.
Method of Counselling.
Case Study.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO. _____

— MEMO —

Group 6. on "Special Curricular Activities."

Home Room Activities:

Standards for Evaluation:

1. Participation
2. Teacher's supervision (democratic?)
3. Status as individual and as a representative.

Group 2: "Teaching Method."

Interest test

Group 1. "Evaluation of School."

DECLASSIFIED E.O. 12333 SECTION 3.4(b)/NNDB NO. [illegible]

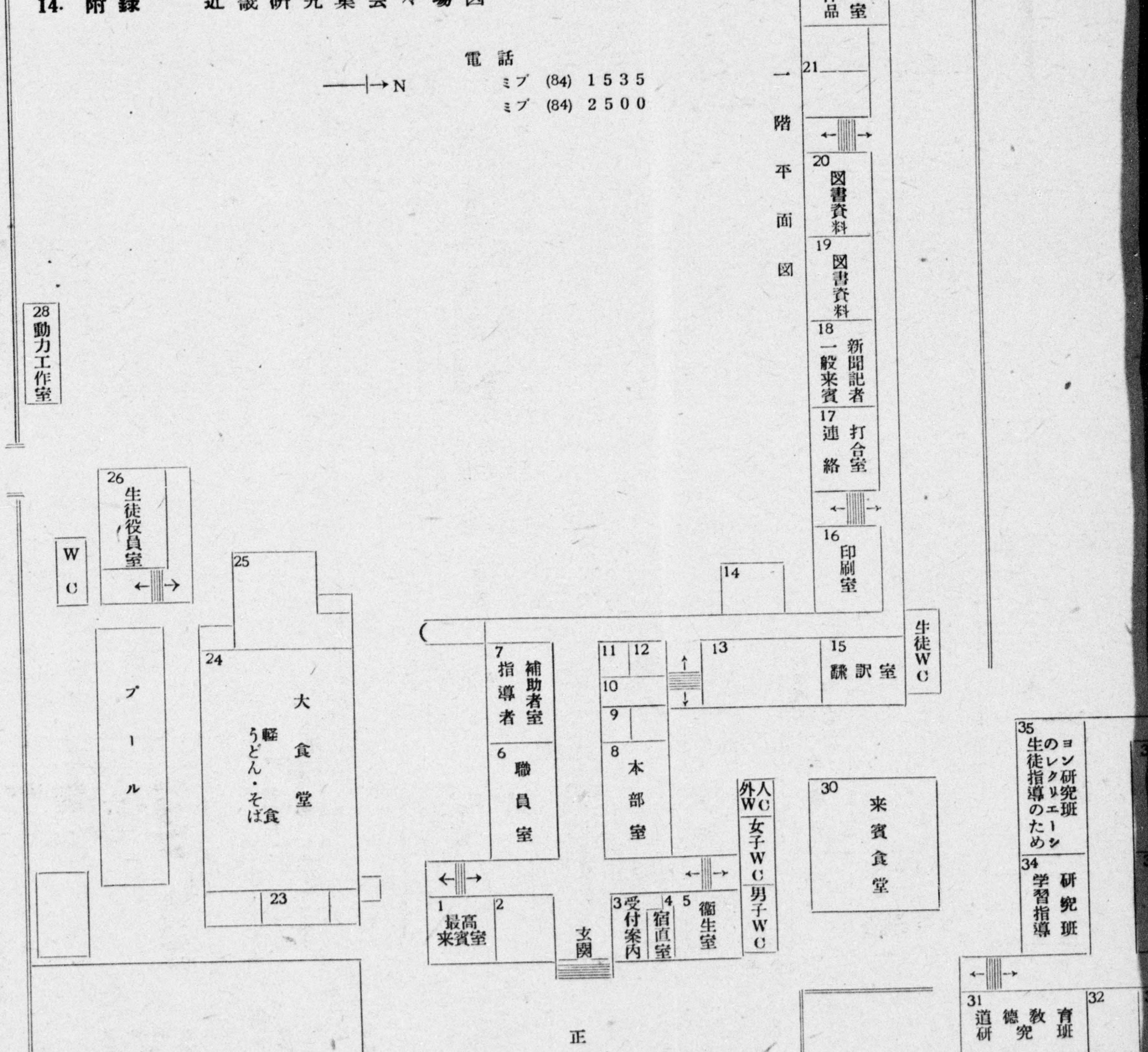
— MEMO —

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO.

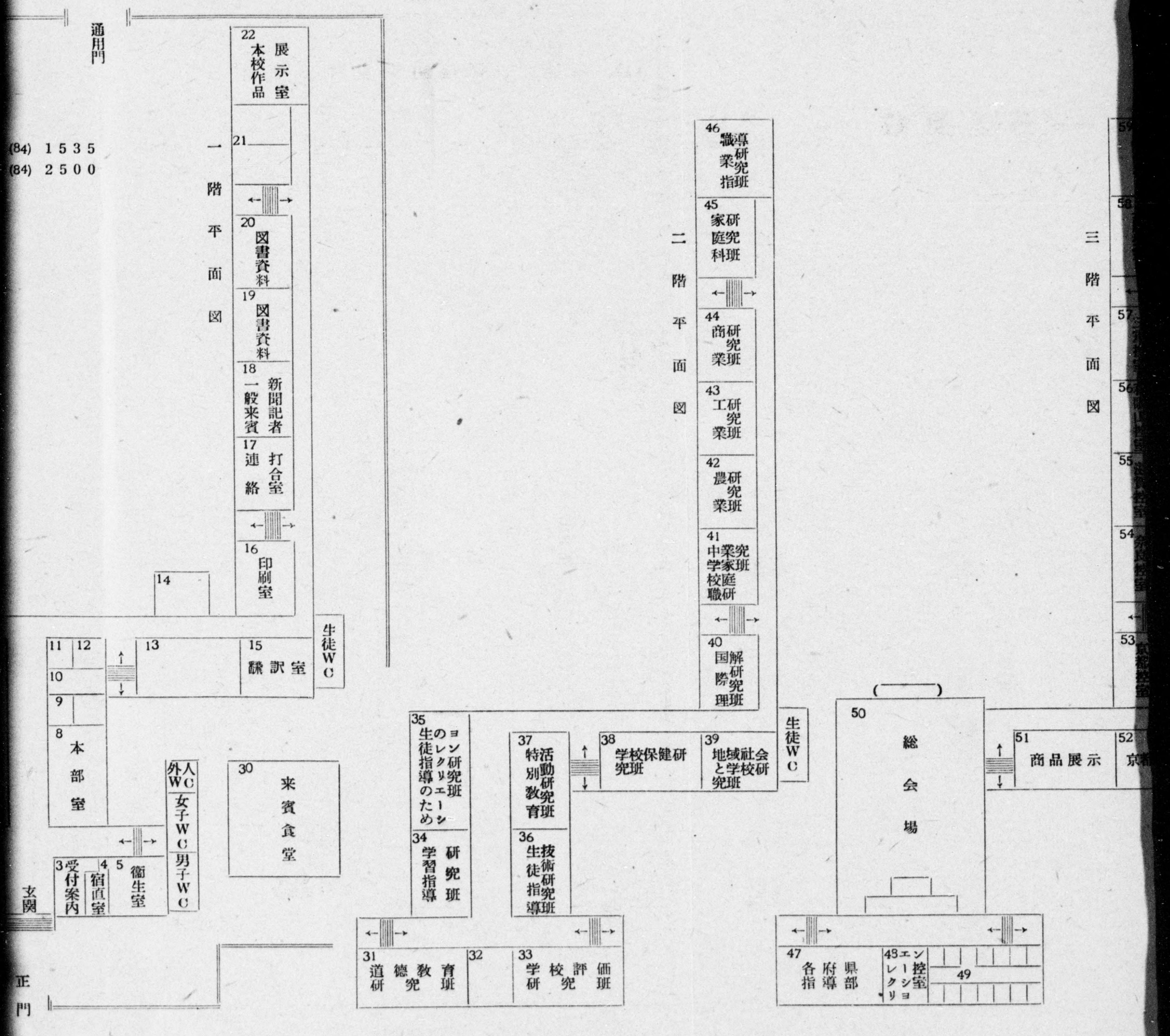
14. 附錄　近畿研究集会々場図

電話
ミブ (84) 1535
ミブ (84) 2500

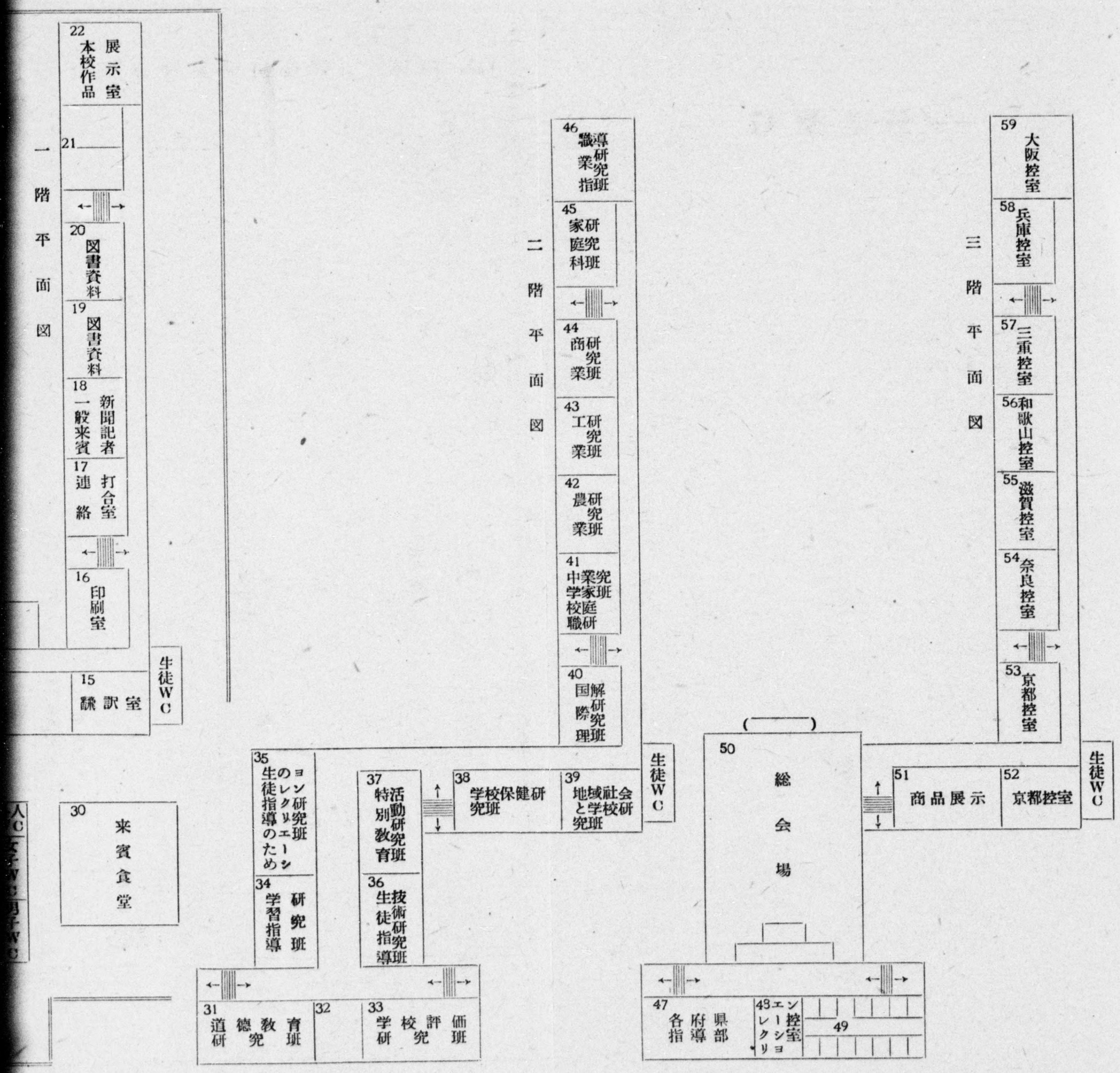
N



DECLASSIFIED E.O. 12033 SECTION 3 402/NNDG NO.

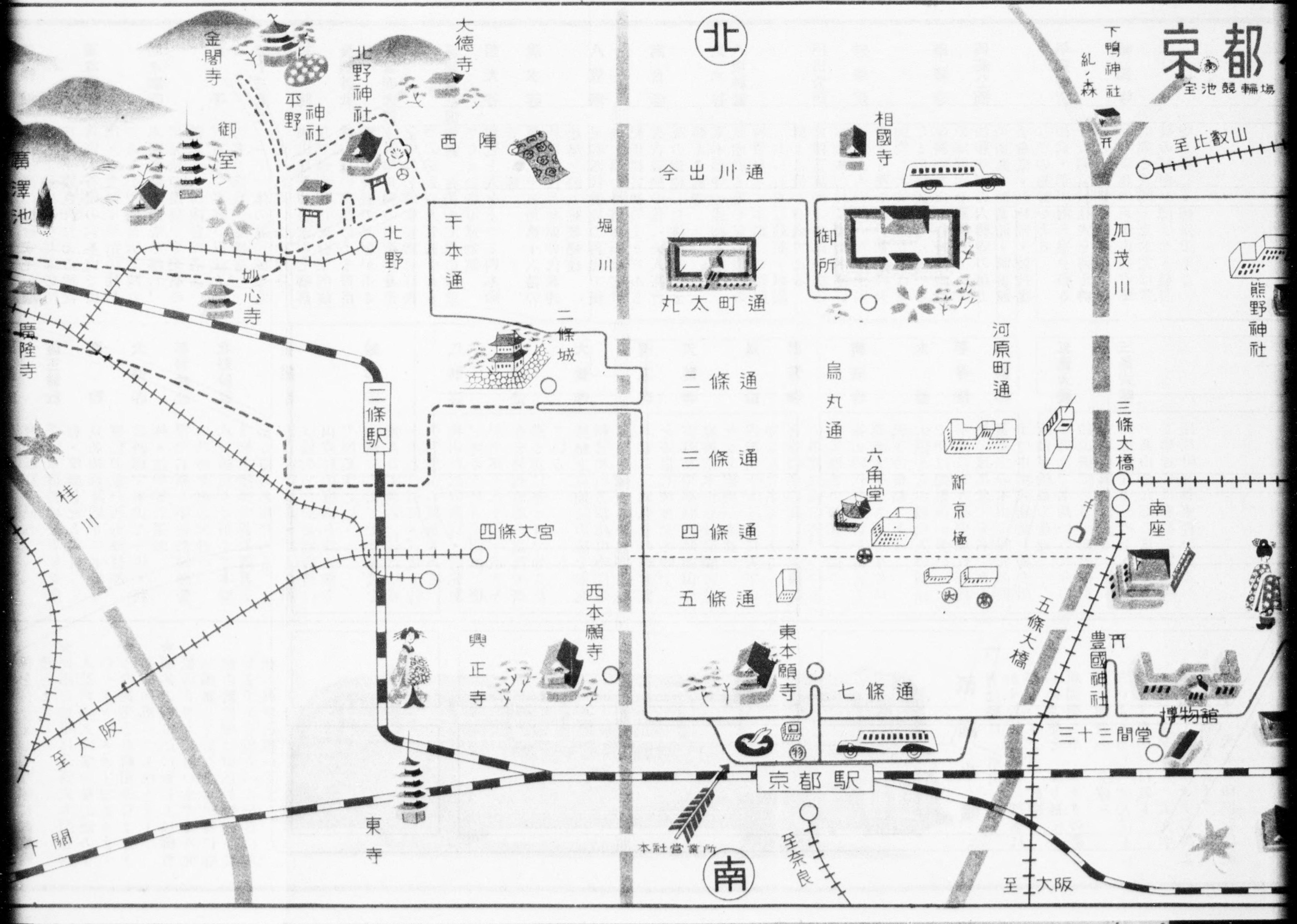


DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

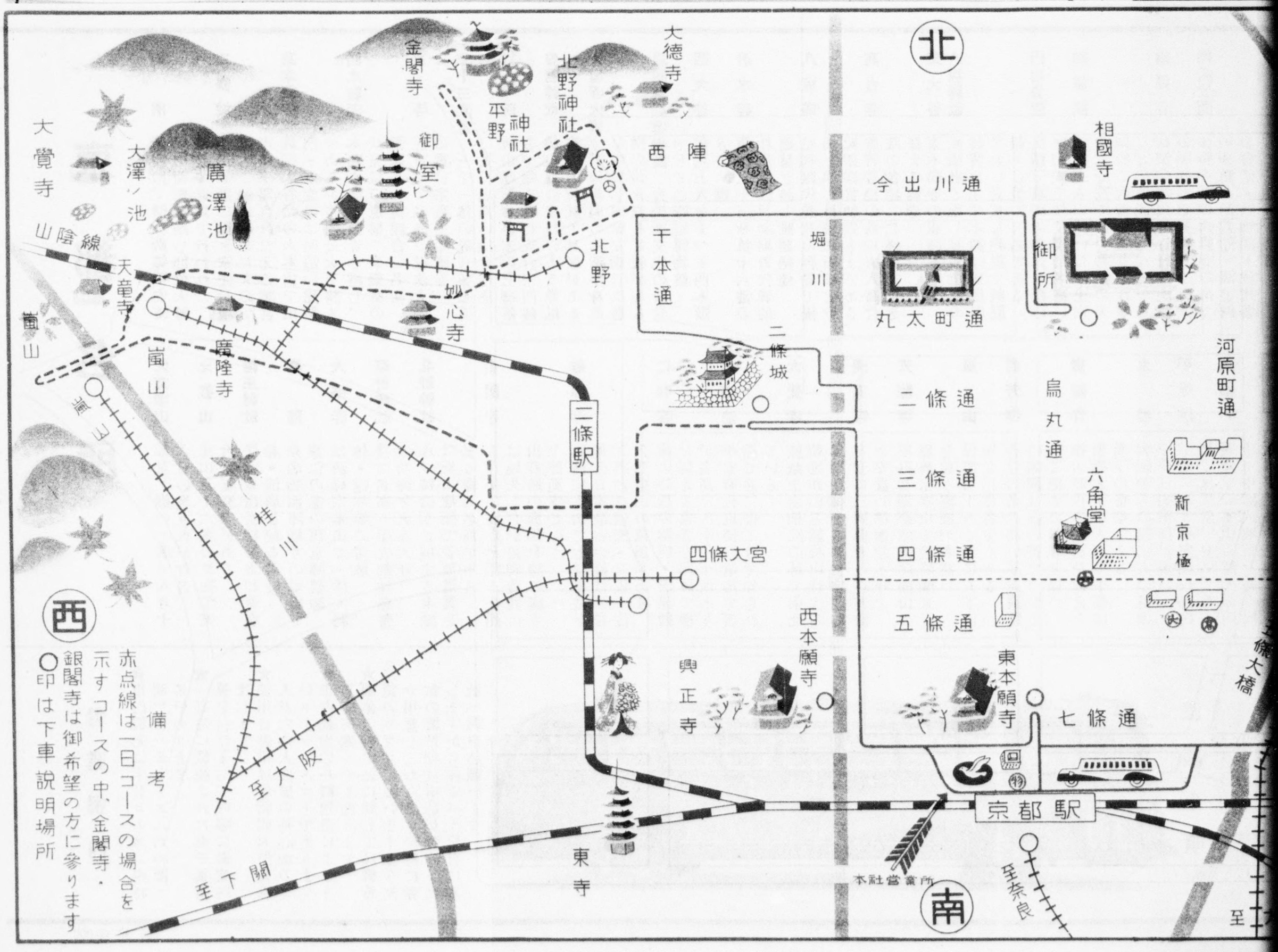


DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 NOT/NNSS NO.



DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 102/NNSC NO.



DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO.

京都名所

御所 紫宸殿、清涼殿等平安時代の面影を殘し卽位大禮は必ず此處で行われた

二條城 德川家康の館を家光が增築して城に改めたもので市に下賜された元の離宮

東本願寺 眞宗大谷派の大本山で山門・本堂等は明治の建築であるが市內最大を誇る

西本願寺 本願寺派本願寺と稱し、伏見城の遺構や聚樂第の飛雲閣・黃鶴台で名高い

東寺 五重塔で名高い弘法大師の眞言宗教王護國寺

三十三間堂 一千一体の觀音像と通し矢で名高い鎌倉建築

妙法院 桃山建築と幕末の七卿落ちで知られた天台宗門跡

豊國神社 桃山城の唐門のある豊臣秀吉の神社で耳塚がある

方廣寺大佛 天保再興の木造半身像を安置し國家安康君臣豊樂の銘を刻んだ鐘がある

恩賜京都博物館 古美術文化の殿堂でもとの帝室博物館

西大谷 親鸞上人をまつる西本願寺の本廟

清水寺 西國三十三所第十六番の札所で江戶初期の代表的建築を誇り眺望絶佳

八坂塔 足利四代義敎の再建で優美を謳われ塔礎石は七世紀創建當初のままである

高台寺 秀吉菩提の爲に夫人高台院の創建した桃山文化を傳える禪寺

東大谷 東本願寺の祖師本廟

八坂神社 祇園社と稱し寢殿造りの特質を示す本殿は西樓門と共に貴重な建築で祇園祭りは最も有名である

円山公園 面積三萬坪の和洋兩樣の庭園式で枝垂櫻が名高い

知恩院 法然上人の開いた淨土宗の大寺院で江戶初期の大伽藍と大鐘を誇り忘れ傘などの傳說に富んでいる

大文字山 如意ヶ嶽の一峯で八月十六日の送り火が有名

比叡山 東山三十六峯の北嶺で天台宗延曆寺がある

護王神社 平安京造營功勞者和氣廣蟲・淸麿を祀る神社

西陣 京名物西陣織りの本場で應仁の亂の西軍陣營跡

大德寺 臨濟禪宗本山で一休・利休・遠州等の遺跡

平野神社 櫻で名高く平安都城經營の功神を祀る大社

北野神社 八つ棟造りと稱する本殿は桃山建築で菅原道眞を祀る梅の名所である

金閣寺 五百年の歷史を語る金閣は燒失したが足利義滿の山莊跡の庭園を誇る禪寺で鹿苑寺という

妙心寺 臨濟宗本山で七堂伽藍を備え日本最古の鐘は妙音を謳われ信玄・三成・佐久間象山の墓所もある

仁和寺 桃山時代の紫宸・淸涼殿を傳える眞言宗門跡で櫻が名高く八十八ヶ所あり平安時代庭園の遺跡で廣澤と共に櫻と月で知られている

大澤池 嵯峨上皇仙院の跡で南北朝講和の遺蹟桃山時代の寢殿を傳える眞言宗門跡本堂に三國傳來の釋迦像を安置し釋迦堂と呼ぶ

大覺寺 室町初期夢窓國師開山の臨濟宗本山で後醍醐天皇を祀り庭園が名高い

清凉寺 保津川下りと共に天下に知られた名勝である

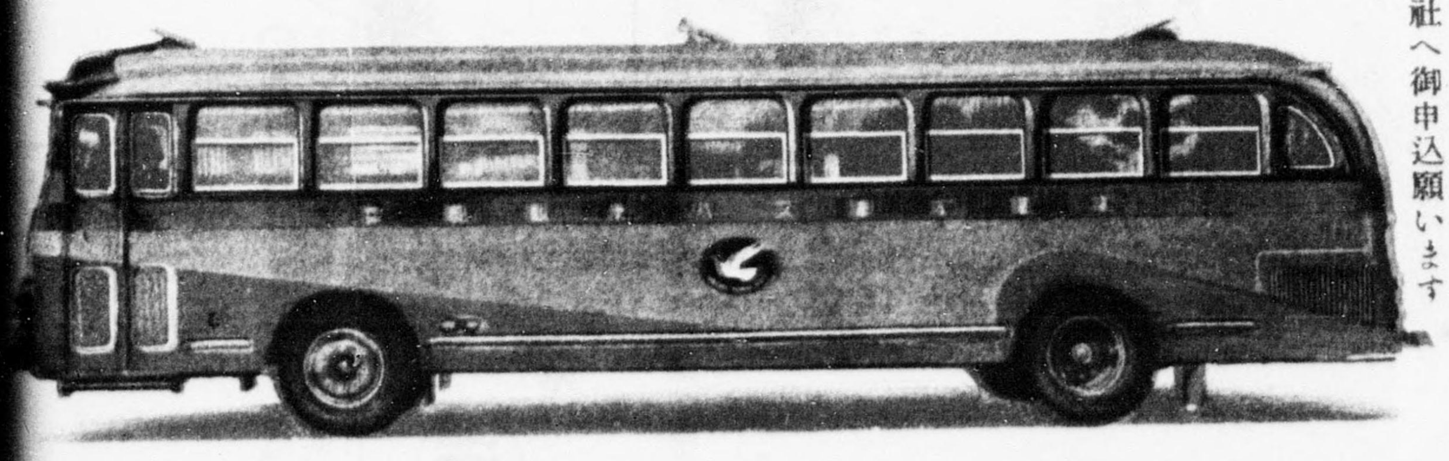
天龍寺 苔寺の名の高い夢窓國師の名園は綠の苔でつつまれて池との調和を保つ

嵐山 推古時代の名寶を傳える

西芳寺 聖德太子の古刹で牛祭は天下の奇祭である

廣隆寺 大陸からの歸化人の遺蹟

太秦



營業案內

★市內觀光は半日コース（四時間）と一日コース（六時間）とがあります

★一臺毎に洗練された女子案內係を付けまして叮嚀に御案內致します

★使用自動車は最新式大型五四人及六六人座席の乘心地のよいローマンスカーであります

★市內觀光の外御用命によりまして何處へでも參ります

★團体の御申込に對しては御希望のプランに添いますよう充分用意しておりますが特に春秋の繁忙期は申込が殺到いたしますから成るべく早目に本社へ御申込願います

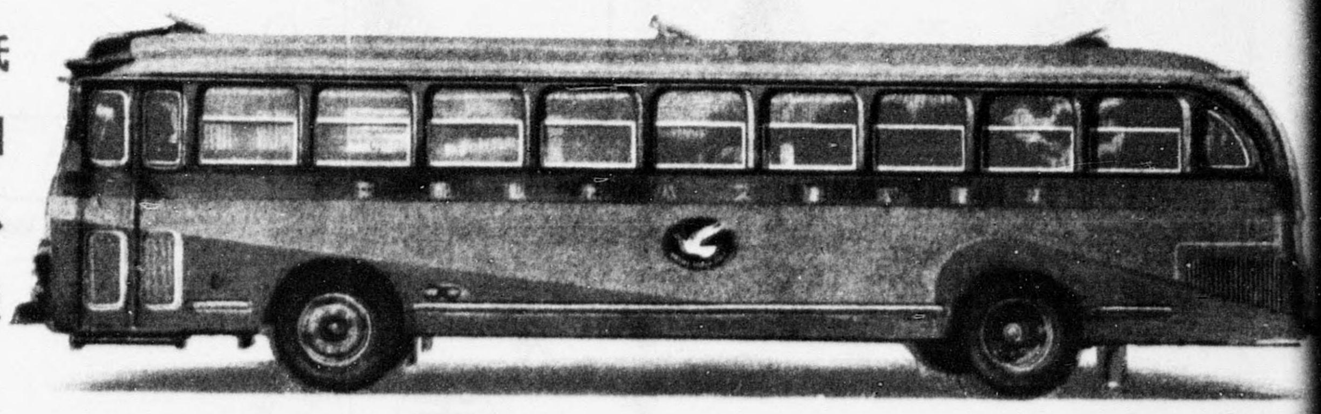
·26. 3. 60.000

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO.

観光バス
（定期・臨時）
名所案内

妙法院 桃山建築と幕末の七卿落ちで知られた天台宗門跡
豊國神社 桃山城の唐門のある豊臣秀吉の神社で耳塚がある
方廣寺大佛 天保再興の木造半身像を安置し國家安康君臣豊樂の銘を刻んだ鐘がある
恩賜京都博物館 古美術文化の殿堂でもとの帝室博物館
西大谷 親鸞上人をまつる西本願寺の本廟
清水寺 西國三十三所第十六番の札所で江戸初期の代表的建築を誇り眺望絶佳
八坂塔 足利四代義教の再建で優美を謳われ塔礎石は七世紀創建當初のままである
高台寺 秀吉菩提の爲に夫人高台院の創建した桃山文化を傳える禪寺
東大谷 東本願寺の祖師本廟
八坂神社 祇園社と稱し寢殿造りの特質を示す本殿は西樓門と共に貴重な建築で祇園祭りは最も有名である
円山公園 面積三萬坪の和洋兩樣の庭園式で枝垂櫻が名高い
知恩院 法然上人の開いた淨土宗の大寺院で江戸初期の大伽藍と大鐘を誇り忘れ傘などの傳說に富んでいる
南禪寺 臨濟宗本山で狩野派画匠の障壁画を網羅している
岡崎公園 法勝寺等の六勝寺の跡で美術館・勸業館・圖書館公會堂・動物園・競技場などの施設がある
平安神宮 桓武・孝明兩天皇を祭る平安朝宮殿樣式を傳え神苑と時代祭とで名高い
銀閣寺 足利義政の東山山莊の跡庭園と銀閣・東求堂は當時の面影を偲ばせる慈照寺と稱して禪宗である

金閣寺 五百年の歴史を語る金閣は燒失したが足利義滿の山莊跡の庭園を誇る禪寺で鹿苑寺という
妙心寺 臨濟宗本山で七堂伽藍を備え日本最古の鐘は妙音を謳われ信玄・三成・佐久間象山の墓所もある
仁和寺 桃山時代の紫宸・清涼殿を傳える眞言宗門跡で櫻が名高く八十八ヶ所あり
大澤池 平安時代庭園の遺跡で廣澤と共に櫻と月で知られている
大覺寺 嵯峨上皇仙院の跡で南北朝講和の遺蹟桃山時代の宸殿を傳える眞言宗門跡本堂に三國傳來の釋迦像を安置し釋迦堂と呼ぶ
清涼寺 室町初期夢窓國師開山の臨濟宗本山で後醍醐天皇を祀り庭園が名高い
天龍寺 保津川下りと共に天下に知られた名勝である
嵐山 苔寺の名の高い夢窓國師の名園は緣の苔でつつまれて池との調和を保つ
西芳寺 推古時代の名寶を傳える聖德太子の古刹で牛祭は天下の奇祭である
廣隆寺 大陸からの歸化人の遺蹟で今は撮影所が多い
太秦 宇治にあり平安朝代表建築の鳳凰堂で有名である
平等院 黃檗宗の本山で隱元の開山で中國式建築を誇り附近は宇治茶の產地
萬福寺 牛若丸で名高いのは今の松原橋であるが此の橋が古い面影を傳える
五條大橋 東海道五十三次上り終點で高山彦九郎の舊蹟である附近には有數の繁華街
三條大橋 河原町・新京極がある



祇園小唄

一、月は朧に　東山
かすむよごとの　篝火に
夢もいざよふ　紅櫻
しのぶ想を　ふり袖に
祇園戀しや　ダラリの帶よ

二、夏は河原の　夕涼み
白いえりあし　ぽんぽりに
かくす涙の　口紅も
もえて身をやく　大文字
祇園戀しや　ダラリの帶よ

京都市下京區西洞院七條下ル
株式會社　大美堂印刷社印刷

バス株式会社

正面 ホテルラクヨー東隣
004・5003・4192

DECLASSIFIED E.O. 12033 SECTION 3 402/NNBS NO.

京都觀光バス
（大型貸切）
市内名所案内

KYOTO TOUR BUS
京都觀光バス株式会社
京都駅西出口正面 ホテルラクヨー東隣
電話下(5)4004・5003・4192

清水寺 西國三十三所第十六番の札所で江戸初期の代表的建築を誇り眺望絶佳

八坂塔 足利四代義教の再建で優美を謳われ塔礎石は七世紀創建當初のままである

高台寺 秀吉菩提の爲に夫人高台院の創建した桃山文化を傳える禪寺

東大谷 東本願寺の祖師本廟

八坂神社 祇園社と稱し宸殿造りの特質を示す本殿は西樓門と共に貴重な建築で祇園祭りは最も有名である

円山公園 面積三萬坪の和洋兩樣の庭園式で枝垂櫻が名高い

知恩院 法然上人の開いた淨土宗の大寺院で江戸初期の大伽藍と大鐘を誇り忘れ傘などの傳說に富んでいる

南禪寺 臨濟宗本山で狩野派画匠の障壁画を網羅している

岡崎公園 法勝寺等の六勝寺の跡で美術館・勸業館・圖書館公會堂・動物園・競技場などの施設がある

平安神宮 桓武・孝明兩天皇を祭る平安朝宮殿樣式を傳え神苑と時代祭とで名高い

銀閣寺 足利義政の東山山莊の跡庭園と銀閣・東求堂は當時の面影を偲ばせる慈照寺と稱して禪宗である

大覺寺 嵯峨上皇仙院の跡で南北朝講和の遺蹟桃山時代の宸殿を傳える眞言宗門跡

清涼寺 本堂に三國傳來の釋迦像を安置し釋迦堂と呼ぶ

天龍寺 室町初期夢窓國師開山の臨濟宗本山で後醍醐天皇を祀り庭園が名高い

嵐山 保津川下りと共に天下に知られた名勝である

西芳寺 苔寺の名の高い夢窓國師の名園は綠の苔でつつまれて池との調和を保つ

廣隆寺 推古時代の名寶を傳える聖德太子の古刹で牛祭は天下の奇祭である

太秦 大陸からの歸化人の遺蹟で今は撮影所が多い

平等院 宇治にあり平安朝代表建築の鳳凰堂で有名である

萬福寺 黃檗宗の本山で隱元の開山で中國式建築を誇り附近は宇治茶の產地

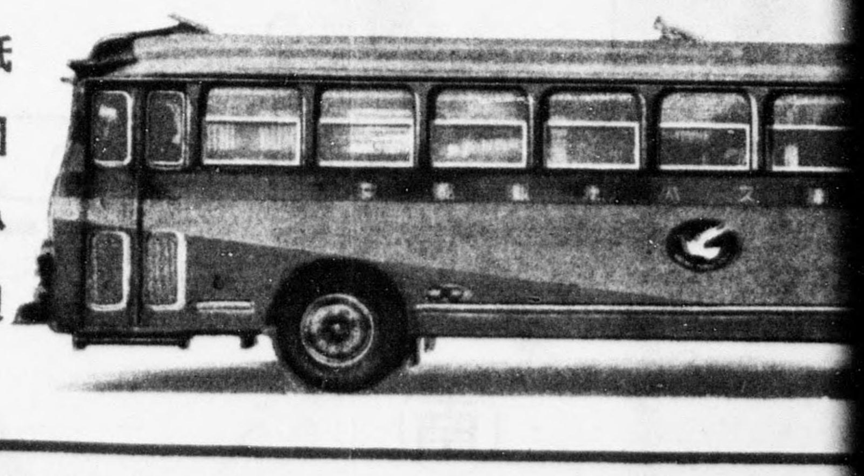
五條大橋 牛若丸で名高いのは今の松原橋であるが此の橋が古い面影を傳える

三條大橋 東海道五十三次上り終點で高山彥九郎の舊蹟である附近には有數の繁華街河原町・新京極がある

祇園小唄

一、月は朧に　東山
かすむよごとの　篝火に
夢もいざよふ　紅櫻
しのぶ想を　ふり袖に
祇園戀しや　ダラリの帶よ

二、夏は河原の　夕涼み
白いえりあし　ぼんぼりに
かくす涙の　口紅も
もえて身をやく　大文字
祇園戀しや　ダラリの帶よ



京都市下京區西洞院七條下ル
株式會社　大美堂印刷社印刷

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNBS No.

INDEX

DATE	TO	SUBJECT
	Kinki Secondary	Education Workshop
	List of Leaders	for Kinki Secondary School Workshop
	Secondary Education Program	
2 Apr 51	CIE Documents	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO. _____

File: Workshops

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
Civil Affairs Section
APO 500

000.8 (2 APR 1951)CAS-CE

2 APR 1951

SUBJECT: CI&E Documents

TO: Chief, Chugoku Civil Affair: Region, APO 182
Chief, Hokkaido Civil Affairs Region, APO 309
Chief, Kanto Civil Affairs Region, APO 500
Chief, Kinki Civil Affairs Region, APO 15
Chief, Kyushu Civil Affairs Region, APO 1105
Chief, Shikoku Civil Affairs Region, APO 1050
Chief, Tohoku Civil Affairs Region, APO 547
Chief, Tokai-Hokuriku Civil Affairs Region, APO 710
(Attn: Civil Education Officer)

Forwarded for your information is a copy of "Elementary Workshops 1951," and also "Education Division Staff Members" from CI&E, GHQ, SCAP.

FOR THE CHIEF, CIVIL AFFAIRS SECTION:

J. A. O'BRIEN
CWO USA
Adm Off

2 Incls
1. Elementary Workshops
2. Edn Div Staff Members

RECORDED C-C A-O

DECLASSIFIED E.O. 12033 SECTION 3 402/NNSS NO: _____

Subject: Elementary Workshops 1951

The following dates have been fixed for the Elementary Workshops in each region:

Region	Prefecture	Dates
Kanto	Gumma (Kiryu City)	18-23 May
Tokai-Hokuriku	Shizuoka	18-23 June
Tohoku	Niigata	9-14 July
Hokkaido	Hokkaido	10-15 September
Kinki	Miye	11-16 October
Shikoku	Kagawa	25-31 October
Chugoku	Okayama	9-14 November
Kyushu	Saga	26-Nov. - 1 Dec.

This year the educators in each region will plan a workshop to meet their needs; hence, both general and specific plans are to be developed by the Planning Committee. The program, too, is to be scheduled at the local level. Differences among programs for the workshops are expected. However, at each workshop there should be demonstration classes planned to demonstrate classroom procedures which need improvement in most of the schools. In these classes principles of learning should be followed. If arithmetic or language classes are demonstrated, there should be provision for differences which exist among the learners either through grouping or individual work. In every class there must be planning and evaluation by pupils with teacher guidance.

Lectures should be delivered on specific, limited topics which can be well-developed in the time allotted. Professors (or others) should plan their own lecture topics related to the workshop program rather than be instructed to lecture upon as assigned topic. Lecturers should use visual materials, illustrations from classrooms or observation of children, and questions directed to the audience.

We are urging, however, that other methods of presenting background material be utilized; such as, panel discussions and panel forums. University professors, teachers consultants, etc. should attend the workshop as consultants, offering many other services in addition to lecturing. As soon as consultants are selected they should prepare themselves to serve the delegates by preparing a bibliography, reading background material, observing in the schools, meeting with other consultants etc.

If there are study groups within the region working upon educational problems, it would be wise to include study groups at the workshops developed to assist in further study. We are urging that a PTA study group be formed at each workshop, either of PTA members from the city within which the workshop is held or from the prefectures, or both. It is advised that the PTA group determine its own problems; social education officers from secretariats should not suggest study topics for the PTA group.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 NND/NNS NO. [illegible]

Elementary Branch hopes that the workshops may stimulate initiative among the local educators and may help the Ministry of Education gain a clearer understanding of its function of assisting rather than directing. We are trying to avoid any procedures which would seem to imply that Ministry of Education is in possession of the best answers to problems or that the Ministry of Education is more competent than others at preparing materials for publication. When representatives from the Regional Planning Committees visit CIE office, they are encouraged to consider publishing materials which are an outgrowth of the workshops. Of course, within a week, the study possibilities do not permit the development of materials which are adequate for publication; however, if an individual or group of individuals will take the materials developed at the workshop, study further and prepare a bulletin, it seems possible that a contribution to educational progress can be made. If this is done within several prefectures, it should lead to the exchange of materials among prefectures. Elementary Educationist would urge that some advice be given about the exchange of materials, otherwise there exists the danger that Ministry of Education will assume the responsibility of serving as a clearing house for materials prepared at the prefectural level.

There are some curriculum bulletins available at CIE Elementary Branch, which are loaned to groups working upon curriculum improvement.

The schedule for Workshops for Education of the Handicapped is included here since what has been stated above is thepoint of view of this Branch concerning Elementary Education Section of these workshops. The study group problems are to be planned at the local level.

We are urging that those who attended the Education of Exceptional Children Sectionsof IFEL serve as consultants at the workshops.

Workshops for Education of Exceptional Children

Region	Prefectures	Dates
Chugoku and Shikoku	Hiroshima	28 May - 6 June
Kyushu (including Yamaguchi)	Fukuoka	27 July - 5 August
Tohoku and Hokkaido	Sendai	21 August - 30 August
Kinki and Tokai-Hokuriku	Osaka	21-30 September
Kanto	Tokyo	7-16 December

s/Edna V. Ambrose
t/EDNA V. AMBROSE
Educationist
Elementary Education

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 102/NNSS NO. [illegible]

EDUCATION DIVISION STAFF MEMBERS

DR. ARTHUR K. LOOMIS	Chief
DR. J. C. TRAINOR	Deputy Chief
MISS EDNA AMBROSE	Educationist (Elementary)
DR. R. R. EWERZ	Educationist (Elementary-Teacher Training)
MR. R. B. FARNSWORTH	Educationist (School Administration)
MR. W. E. MORGAN	Educationist (School Education Reorganization)
DR. R. E. CULBERTSON	Educationist (Vocational Education)
MR. J. L. VANDEGRIFT	Educationist (Adult Education)
DR. MAUD WILLIAMSON	Educationist (Home Economics-Vocational)
MISS DEE BECKMAN	Educationist (Sports and Recreation)
DR. THOMAS H. McGRAIL	Educationist (Higher Education)
DR. WILLIAM NEUFELD	Educationist (Health & Athletics)
MR. DON M. TYPER	Educationist (Youth Organ, & Student Activities)
MAJOR STELLA WARE	Special Projects Officer
MAJOR H. B. BUNDY	Secondary Educationist
DR. B. HOLLINGSHEAD	Educationist (Teacher Training - Secondary)
MR. FRANK JUDSON	Educationist (Visual and Auditory Teaching Aids)
MR. MONTA OSBORNE	Educationist (Secondary Education)
MR. K. M. HARKNESS	Educationist (Textbook and Curriculum)
MR. DAVIS SHIROMA	Textbook Analyst
MR. HOHN MITCHELL	Educationist (Research, General)
MR. H. V. CALHOUN	Educationist (Research, General)
DR. A. DEL RE	Advisor
MR. J. O. GAUNTLETT	Advisor
DR. VERNA CARLEY	Educationist (Teacher Education Pre. Service)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (E)(1)(D) NSC NO. _____

WORKSHOPS - Handicapped Education

Number and Duration

Five 10-day regional Workshops on Education of the Handicapped will be held during the period May-December 1951. Teachers and principals from schools for the handicapped, teachers and principals from regular schools, teacher consultants and other categories of educational workers from every prefecture will attend these workshops.

Dates and Locations

Dates (1951)	Place	Regions	Prefectures
28 May to 6 Jun	Hiroshima City	Chugoku and Shikoku	Okayama, Hiroshima, Shimane, Tottori, Kagawa, Ehime, Kochi and Tokushima
27 Jul to 5 Aug	Fukuoka City	Kyushu Island	Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Kagoshima, Miyazaki and Yamaguchi
21-30 Aug	Sendai	Hokkaido, Tohoku, Hokuriku, Kinki and Tokai	Hokkaido, Fukushima, Miyagi, Iwate, Aomori, Akita, Yamagata and Niigata
21-30 Sep	Osaka City	Kinki and Tokai	Gifu, Aichi, Osaka, Wakayama, Nara, Mie, Shiga, Kyoto, Hyogo, Ishikawa and Fukui
7-16 Dec	Tokyo	Kanto	Tokyo, Chiba, Ibaragi, Kanagawa, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Saitama, Shizuoka, Toyama and Nagano

Regional Planning Committee and Problems

Each workshop will be divided into an elementary section and a secondary section. At the secondary level, five major problems, chosen at the national level, will run through the five workshops; an additional five will be chosen for each workshop by the Regional Workshop Planning Committee. The five nationally selected problems are:

Development and Use of Case Histories
Identification of the Handicapped and Their Placement in School
Recreational Programs in Schools for the Handicapped
Planning and Utilization of the Curriculum, and Methods Materials
Prevention of Physical Handicaps

Five other problems will be chosen by the Regional Planning Committees.

DECLASSIFIED E.O. 11652 SECTION 3 (E)(1), NARS NO.

WORKSHOPS - Handicapped Education

Number and Duration

Five 10-day regional Workshops on Education of the Handicapped will be held during the period May-December 1951. Teachers and principals from schools for the handicapped, teachers and principals from regular schools, teacher consultants and other categories of educational workers from every prefecture will attend these workshops.

Dates and Locations

Dates (1951)	Place	Regions	Prefectures
28 May to 6 Jun	Hiroshima City	Chugoku and Shikoku	Okayama, Hiroshima, Shimane, Tottori, Kagawa, Ehime, Kochi and Tokushima
27 Jul to 5 Aug	Fukuoka City	Kyushu Island	Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Kagoshima, Miyazaki and Yamaguchi
21-30 Aug	Sendai	Hokkaido, Tohoku, Hokuriku, Kinki and Tokai	Hokkaido, Fukushima, Miyagi, Iwate, Aomori, Akita, Yamagata and Niigata
21-30 Sep	Osaka City	Kinki and Tokai	Gifu, Aichi, Osaka, Wakayama, Nara, Mie, Shiga, Kyoto, Hyogo, Ishikawa and Fukui
7-16 Dec	Tokyo	Kanto	Tokyo, Chiba, Ibaragi, Kanagawa, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Saitama, Shizuoka, Toyama and Nagano

Regional Planning Committee and Problems

Each workshop will be divided into an elementary section and a secondary section. At the secondary level, five major problems, chosen at the national level, will run through the five workshops; an additional five will be chosen for each workshop by the Regional Workshop Planning Committee. The five nationally selected problems are:

Development and Use of Case Histories
Identification of the Handicapped and Their Placement in School
Recreational Programs in Schools for the Handicapped
Planning and Utilization of the Curriculum, and Methods Materials
Prevention of Physical Handicaps

Five other problems will be chosen by the Regional Planning Committees.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 NLJ/NNSB NO. _____

WORKSHOPS IN SECONDARY EDUCATION

Number and Duration

There will be eight workshops, each lasting seven days. Negotiations with the host prefectures have been concluded.

Dates and Locations

Dates(1951)	Place	Participating Prefectures
13-19 June	Iwate-ken	Iwate, Aomori, Miyagi, Akita, Yamagata, Fukushima, and Niigata
26 June to 2 July	Kyoto-fu	Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, and Wakayama
12-18 July	Hokkaido	Hokkaido
7-13 September	Kanagawa-ken	Kanagawa, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Tokyo, Yamanashi, and Chiba
11-17 October	Toyama-ken	Toyama, Ishikawa, Fukui, Nagano, Gifu, Shizuoka, and Aichi
25-31 October	Shimane	Shimane, Okayama, Hiroshima, and Yamaguchi
8-14 November	Miyazaki	Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, and Kagoshima
22-28 November	Tokushima	Tokushima, Kagawa, Ehime, and Kochi

Regional Planning Committee

There is a Regional Planning Committee to plan each workshop, with the host prefecture and the participating prefectures represented on the committee.

Major Study Groups

It is planned that there shall be 15 major study groups in the 1951 workshops, eight in general secondary education and seven in vocational education. In the case of general secondary education, the themes of four of the eight groups would be designated at the national level and would run through the eight workshops. The other four themes would be designated by the Regional Planning Committee. In the case of vocational education the major themes would be designated by the M/E in the case of six of the seven study groups.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS NO. [illegible]

Group 1	Evaluation of the Secondary School Program.
Group 2	Counseling as a Technique in Guiding Pupil Behavior.
Group 3	Education for World Understanding.
Group 4	Recreational Programs for Secondary School Pupils.
Group 5)	
Group 6)	To be designated by the
Group 7)	Regional Planning Committee
Group 8)	in each case.
Group 9	Vocational Course of the Lower Secondary School.
Group 10	Agricultural Education.
Group 11	Industrial Education.
Group 12	Commercial Education.
Group 13	Homemaking Education
Group 14	Vocational Guidance.
Group 15	To be designated by the Regional Planning Committee in each case.

Selection of Problems and Major Themes

Criteria for the selection of major themes and topics are as follows:

Those should be included which:

1. Are especially serious problems in the region.
2. Cannot be resolved in a single prefecture.
3. Need to be emphasized in the region.
4. Are suitable as subjects or problems for workshop activities, including demonstrations, discussion, and research.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS NO. [illegible]

File: ~~Workshops~~

130-R(1)

SECONDARY EDUCATION PROGRAM

1. Workshops in Secondary Education

a. Purpose

The improvement of general secondary education (including all special curricular programs and activities)

b. Plan

To work with appropriate Ministry of Education officials, and other national leaders appointed for this duty, Regional Planning Committees, Prefectural Boards of Education (including Superintendent and his secretariat), principals and demonstrating teachers of schools in which demonstrations are held, and the co-operating university and members of the staff who act as consultants and speakers, in developing the planning, organizing, preparing for, and functioning in the workshop activities.

The plan includes not only the 7-day workshop proper, but also a one or two-day preworkshop conference with various committees, demonstrating teachers, speakers, leaders and chairmen of study groups for the purpose of making a final review and possible revisions of all plans and activities, arrangement of materials and facilities, and assist in the co-ordinating of all functions of the workshop.

CIE Educationists also serve as consultants to the various study groups, leaders and chairmen, and various committees during the workshop proper.

CIE Educationists also serve as consultants to visiting representatives from other Regions planning similar workshops.

c. The Schedule

Date	Prefecture	City	Region	School
13-19 June	Iwate	Morioka	Tohoku	Morioka Upper Secondary School
20 June	Miyagi	Sendai	Tohoku	(Preplanning of Handicapped Workshop)
26 June-2 July	Kyoto	Kyoto	Kinki	Nijo Lower Secondary School
12-18 July	Hokkaido	Kitami	Hokkaido	Kitami Lower Secondary School

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS No. _____

7-13 Sept.	Kanagawa	Odawara	Kanto	Jonai Upper Secondary School
11-17 Oct.	Toyama	Toyama	Tokai-Hokuriku	Toyama Chubu Upper Secondary School
25-31 Oct.	Shimane	Matsue	Chugoku	Matsue Upper Secondary School
8-14 Nov.	Miyazaki	Miyazaki	Kyushu	Oyodo Upper Secondary School
22-28 Nov.	Tokushima	Tokushima	Shikoku	

d. How CIE Field Unit Can Assist in Workshop

Can attend workshops, and familiarize themselves with the plans, activities and techniques of the workshops with a view toward assisting the prefectural and city Boards of Education in planning follow-up workshop and other educational activities that will further disseminate the knowledge obtained, and results in improved practices.

Can facilitate billeting and transportation of CIE Educationists upon arrival, and throughout the duration of the workshop.

2. Conferences and Meetings

a. Participation by CIE Educationists

Secondary Educationists as time permits, will attend various conferences and meetings of professional associations in educations as requested by Japanese agencies. No definite schedules have been set by CIE Educationists at the present time.

b. How CIE Field Unit Can Assist

Can encourage the members of the association by assisting in obtaining materials for study and reference; and speaking at meetings when requested, can facilitate billeting and transportation as mentioned previously.

3. Courses of Study

Examples of national courses of study in the majority of secondary school subjects have been completed or are nearing completion at this time. These are not mandatory. The Ministry of Education plans conferences and meetings throughout Japan to explaining the content and usage. CIE Field Unit can assist prefectural and city boards of education in adapting such courses

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 NND/MMS NO. [illegible]

of study to meet the needs of the various localities; in constructing new courses of study when such are desired; and in emphasizing that Ministry of Education compiled courses of study are, in no sense of the word, mandatory for use in any school.

4. Publications by Ministry of Education

CIE Section no longer is authorized to approve or disapprove content of professional publications, including school textbooks. However many professional books for teachers, principals and teacher consultants have been published during the past few years, but have not been publicized sufficiently to inform those for whom they were written that they were available; neither has there been proper distribution. Also it is expected that such book now in process of preparation likewise will not have proper publicity, distribution, nor utilization.

CIE Field Unit can assist in developing a program of publicity to acquaint school personnel of these professional materials; and assist the Japanese to utilize them in various types of in-service training programs.

5. Utilization of Educational Materials Other Than Professional Publications

At present there are many types of educational materials such as films, film-strips, projectors, gramophones and records, books and periodicals, et cetera, in the CIE and prefectural libraries. May more such materials are planned for the future. However many of the schools do not know of this existence of them; hence are not being fully utilized.

CIE Field Unit can assist the Japanese in a publicity campaign to acquaint those concerned of the existence of these materials and assist them in their usage.

6. Moral Education

Since the banning of the shushin course (morals course) CIE, Education Division has been assisting the Japanese in the development of the educational philosophy and practices that include the teaching of morals in all school situations; also in the development of a handbook on the subject, which recently has been released under the title of "On Moral Education at Upper and Lower Secondary School Levels".

DECLASSIFIED E.O. 11652 Section 5 (E)(1),(3) or (4) By [illegible]

CIE, Field Unit can assist in emphasizing such philosophy and practices; and in the publicizing and utilizing of this handbook by all educational personnel concerned.

7. Radio Education

At present, several series of educational radio programs for teachers and pupils are being broadcast through NHK, with the assistance of CIE. Accompany utilization bulletins for these programs are sold to various schools and individual teachers. Both the programs and bulletins are considered as helpful in furnishing supplementary materials and methods to teachers.

CIE, Field Unit can assist in this project by publicizing the programs and bulletins, and assisting educational personnel in their effective utilization and in avoiding certain abuses not too uncommon, such as merely listening to the radio as regular class work rather than as supplementary material. Pupils engage in all suggested activities, and others.

8. Entrance to Upper Secondary Schools

Since there are not enough upper secondary schools to accommodate graduates of lower secondary schools who desire to continue their schooling the system of entrance examination for selection is still in effect. These examinations are prepared at prefectural levels, based on certain adapted principles; however the resulting examinations are often mere achievement tests, rather than scholastic aptitude and social maturity tests. Selection is made in March or April each year.

CIE Field Unit, upon request, may encourage prefectural personnel whenever possible to improve the criteria for test construction and other screening procedures for selection.

DECLASSIFIED E.O. 11652 SECTION 3 (E)(1)(B) NLS No. [illegible]

9. Vocational Education

a. Vocational Education Councils

The Vocational Education Law passed by the Diet provides for required establishment of Local Vocational Education Councils in To, Do, Fu, and prefectures, as advisory organs for the Boards of Education and the Governors. Such Councils may be established in cities, towns, and villages, including associations of cities, towns, villages and special wards. Membership will be not less than 10 nor more than 20 in the To, Do, Fu, and prefecture and not less than 5 nor more than 15 in the others. Text of the official version of the Diet passed law, which also provides for a national council, will be forwarded as soon as available.

CIE, Field Unit can give assistance to these Local Councils, in understanding the law, in effectively organizing the councils, and in planning their programs.

b. Secondary Education Programs in Vocational Education

The Ministry of Education and other appropriate national agencies are planning to continue their study of problems in vocational education and vocational guidance at the upper and lower secondary school level. Courses of study, textbooks and supplementary materials will receive attention.

CIE Field Unit can encourage local and/or prefectural school system to take more interest in adaptation of nationally produced materials to fit local conditions. Attention should be given to various phases of vocational education, including vocational guidance, in the workshop programs, in various other programs, and assistance given to all educational personnel requesting advice and assistance.

c. Teacher Training

In-service training problems will be considered as part of the program of secondary workshops, and possibly in other Japanese sponsored programs. In addition, 12 institutions have been designated as key centers for the training of agricultural education teachers. Representatives of each of the schools will spend this summer in the United States observing programs of teacher training in the field of agricultural education. The 12 institutions are:

DECLASSIFIED E.O. 12065 Section 3 NSC Memo

PROJECT NO : #204
PROJECT NAME: Agricultural Education

			Tele. No.	Date of Interview
MIYAWAKI, Atsushi	Zoo-technny	President, Obihiro University of Zootechnology	Obihiro Kawanishi 1050	7 Feb. 1951
OIKAWA, Kaichi	Agri-culture	Asst.Prof., Faculty of Agriculture, Iwate University	Morioka 2315	9 Feb. 1951
NAKAHARA, Keiichi	Agri-culture	Asst. Prof.,Faculty of Agriculture, Utsunomiya University	Utsunomiya 2242	10 Feb. 1951
TAKEDA, Kenji	Agri-culture	Dean, Faculty of Horticulture, Chiba University	Matsudo 28	8 Feb. 1951
HANABAWA, Jinki	Agri-culture	Dean, Faculty of Agriculture, Tokyo University of Education	(46) 2405	8 Feb. 1951
HARUNA, Shin	Agri-culture	Lecturer, Faculty of Agriculture, Niigata University	Niigata 3001	9 Feb. 1951
NISHIDA, Goro	Agri-culture	Lecturer, Faculty of Agriculture, Mie University	Tsu 62-3	9 Feb. 1951
TAKAI, Masajiro	Agri-culture	Asst. Prof.,Faculty of Agriculture, Gifu University	Gifu-Naka 56	9 Feb. 1951
MATSUDA, Kiyokatsu	Agri-culture	Professor, Faculty of Agriculture, Tottori University	Tottori 1280	10 Feb. 1951
DANJO, Tsutomu	Agri-culture	Professor, Faculty of Agriculture, Miyazaki University	Miyazaki 1700-1	12 Feb. 1951
MIURA, Koroku	Agri-culture	Dean, Faculty of Agriculture, Kagoshima University	Kagoshima	10 Feb. 1951
TSUSHIMA, Hiroshi	Agri-culture	Asst. Prof., Ehime Pref. Matsuyama University of Agriculture	Matsuyama 557	9 Feb. 1951

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO. [illegible]

CIE, Field Unit can assist in workshops as previously described; advise and assist in Japanese sponsored programs; encourage staffs to continue such training and assist in other ways that are feasible.

d. Homemaking

In the field of homemaking education the following 8 institutions have been designated by the Ministry of Education as specialized centers for the training of teachers: Hokkaido University, Niigata University, Utsunomiya University, Aichi Gakugei, Nara Women's University, Hiroshima University, Nagasaki University, and Tokushima University. Suggestions on what CIE, Field Unit can do will be given later.

e. Adult Education

Plans are being developed for extending the program of vocational education in the field of adult education. Material when available will be forwarded. In addition there has been increased interest in and attention to programs of vocational education in industry. While the major attention is being given by industrial groups, the Ministry of Education is preparing materials and it is expected that local educational agencies may be asked to participate in the work of joint committees designed to further developments in this area of work.

CIE, Field Unit can encourage and assist schools in effective utilization of materials, and in their educational plans to work co-operatively with the industrial groups. They also can refer them to various other materials available in the prefectures that will assist them in such plans and activities.

f. Explanation to CIE, Field Unit

Education Division staff in vocational education was involved in RIF. Thus specialized technical advise from Education Division will not be available. Such assistance as is possible to give on the more general phases of the problems will be available.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO: _____

10. Part-time Education

There is much misunderstanding as to the purposes of, and what constitutes part-time education; there also are malpractices arising out of the system of part-time education. Part-time education was instituted for the purpose of enabling youth who cannot afford to attend school full time to attend part-time as he works, though it would take longer to finish school; it also is for the purpose of enabling adults who were forced to leave school before graduation to go back to school and finish as they can while working. Also the purposes included the taking care of pupils in upper secondary schools who could not be admitted on a full-time basis because of lack of room. Part-time education may include day or night classes.

One malpractice arising from the system of part-time schools is to reduce the quality and quantity of instruction to the level of the old "youth schools". This is highly undesirable. Another malpractice arising from the system is the attitude of business concerns hiring graduates of part-time schools; they tend to look down upon these graduates since their diplomas state that the graduates are "part-time school" graduates. The diplomas should be exactly like those from full-time schools.

CIE, Field Unit can assist in solving this problem by encouraging in every way possible schools to keep to the same standards of both quality and quantity of instruction in part-time schools that the full-time schools set. They should try to get the diplomas to be exactly alike. They may encourage business groups to study the problem and to insist that graduates from both types of schools receive the same instruction; and also encourage them to accept graduates of each type of school without discrimination. In cases where universities discriminate against graduates of part-time schools, they may assist them to fair and reasonable practices in connection with the problem.

11. Equivalency Examinations

The Ministry of Education have a program of making available to students who take correspondence courses in order to graduate from upper secondary schools, "equivalency" examinations for entrance to universities. If passes, the scores on these examinations are taken as equivalent to credits obtained in regular school attendance. Prefectures make out and give these examinations according to suggested criteria.

CIE, Field Unit can assist in this project by giving assistance to the test constructors in principles of actual test construction, and in setting up plans for giving and scoring the examinations. They also can encourage universities to accept without discrimination those who offer this type of credit for entrance to the universities.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS No.

12. Study of Comprehensive Upper Secondary Schools

The Ministry of Education have encouraged comprehensive upper secondary schools which include vocational education, without, however, insisting that all schools be comprehensive. Many Japanese educators are watching the development of these schools, and in many instances are separating them again. The Ministry of Education plans to study this problem by making surveys of the effectiveness of the programs in the comprehensive type schools. Results of the surveys will be discussed in IFEL's, workshops, and special conferences. Attempts will be made to establish criteria by which the results of the schools programs may be measured objectively.

CIE, Field Unit can observe and assist in the evaluative programs in any way suggested by the Japanese educators; and also may assist them in planning conferences on the subject. At the national level the evaluative instruments have been carefully prepared, but assistance may be needed greatly in interpreting and applying the results of the survey.

13. The Program in the Teaching of English

The main object of this program is to assist Japanese teachers of English so that they may have a good functional knowledge of the language apart from knowledge about it and to equip them in obtaining all the requirements that are necessary to their profession. This is done through assisting them, and those interested in the subject, at English language conferences and workshops, by helping them in their in-service programs, by solving with or for them problems that may arise connected with their profession, and by acquainting them with new literature and knowledge on the subject. Various boards of education and other educational organizations have asked for assistance in compiling their own courses of study or textbooks. Such assistance has always been extended. Outline talks on the coming Ministry of Education English Course of Study and The Teaching of English have been given at request, and demonstration teaching, discussions, and talks on such matters as gradation of teaching materials, evaluation of pupil progress, use of audio-visual aids prove most welcome.

CIE, Field Unit can assist by giving encouragement to all worth-while projects in English that may be started by the Japanese by providing such groups with necessary materials, and especially by advising them on the organizational side of such projects. It can also assist by letting us know beforehand what is needed and by encouraging them to follow up what has been gained. It could also encourage them to record systematically the results of research and other data for future reference and in getting the teachers to co-operate with one another so as to discourage the tendency to form cliques.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NARS NO.

14. University Entrance Requirements

Although there has been some improvement in university entrance regulations since 1945, secondary education officials and educators are not satisfied. They believe that university entrance requirements seriously hamper the upper secondary schools in the development of curricula based upon the needs of young people. Furthermore the pressure on the upper secondary schools in turn exerts pressure on the lower secondary schools, the results often being a reversion to the old type curricula which had little to offer except intensive academic training regardless of the needs of the pupils in upper and lower secondary schools. The Japanese intend to establish a permanent committee on university entrance requirements to re-study the entire problem; the committee will be composed of representative from universities, upper and lower secondary schools.

CIE, Field Unit can assist in this project by meeting upon request with any gruups desiring assistance in thinking through this problem. They can explain there is no scientific evidence that the study of the traditional subjects in secondary schools teaches students to use the thinking processes any better than the less traditional subjects; that little "crammed" is remembered, et cetera. In other words to help them to see that proper growth and development of the pupil in intellectual, physical, social, and emotional aspects adequately prepares him for college without the secondary schools putting undue emphasis on the study of academic subjects.

15. Utilization of Teacher Services, Buildings, and Equipment

Surveys by both Ministry of Education and CIE show that poor utilization often is made of teacher services, buildings, and equipment. There is wide discrepancy between time and pupil loads carried by the upper and the lower secondary school teachers; there is much room for improvement for improvement in the use of buildings and equipment particularly in the upper secondary schools. The Ministry plans to give increasing attention to this problem in workshops and conferences.

CIE, Field Unit can assist in this project by attending any conferences and workshops on this problem. They can help individual schools plan to improve the conditions of uneven teacher loads, and the poor utilization of classrooms, and equipment.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO.

16. Secondary Schools Evaluation Program

In 1950 the Ministry of Education formed a General Committee of Secondary School Evaluation and supplemented it with 10 subcommittees, each with responsibility for developing a list of evaluative criteria in one of the 10 major phases of the program of secondary schools. These criteria will be "practiced" in the 1951 workshops in secondary education, and evaluated by the members of the workshop group participating in the project. Results in each workshop will be studied and analyzed by the M/E for use in an interim report which will serve as a basis for further development of the program of nation-wide evaluation of secondary school programs of education.

CIE, Field Unit can assist in this project by observing and participating in the workshop groups who are taking up the study of this problem. They can assist interested school officials other than used by the workshop groups in applying these criteria to their own schools, and help them to plan improvements in the light of the results of the application of the criteria. School officials might be encouraged to make such evaluations, and help rendered them in their efforts.

17. Student Organizations

The student body organizations as part of the Pupil Guidance Program often leave much to be desired. Too frequently they are organized and run without teacher help; and include only the favored few, or the rampant many. The new professional book "Student Organizations" is a very readable and sound treatise on the problem; it is addressed to the student rather than to the teacher. This manual will be used in some of the workshops; it should have wide distribution, and the principles set forth in it practiced by every school having a student body organization.

CIE, Field Unit can assist by helping every school possible in making a study of this book, and in applying the principles set forth. This is considered a very important project in inculcating principles and practices of democracy into the youth of the nation.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO. [illegible]

18. Audio-Visual Education

The amount of audio-visual teaching material is steadily increasing and techniques of producing and utilizing such materials continue to improve. As a result, for the coming year, the most significant activity in this field will be the establishment of Teaching Material Centers, set up on a practical, geographical basis. Several cities have already established such Centers with a great saving in the cost of acquiring and maintaining such equipment as motion picture projectors, tape recorders, and other special items which can be used jointly by a number of schools. The criteria employed in every case as to which materials are to be contained in such a Center depend entirely upon how often the items in question are to be used, and whther a saving in money and time will result from joint purchase and use. This program is particularly important in rural areas where few individual schools can afford to purchase the major items of audio-visual equipment. So far, only motion picture projectors, films and filmstrips are contained in the Centers recently established, but additional materials will be added as the obvious advantages become more widely known. CIE, Field Units could assist by encouraging the establishment of a demonstration center, publicizing those already in successful operation and by pointing out the practical results and monetary saving to school officials and Boards of Education.

19. School Libraries

School library interest has been heightened by the recent return of the School Library Leaders Group to Japan and by the excellent materials now available on the establishment and administration of school libraries. But the number is still too few and constant encouragement is necessary. The Compton Encyclopedia Contest for the improvement of school libraries has been of great benefit and efforts should be made by prefectures to supply similar motivation during the coming year.

The extension of school library facilities to include audio-visual materials must also be encouraged as it results in both economy and efficiency. Training courses for school librarians and recognition of the importance of teacher-librarians are required if schools are going to have this needed facility.

20. Audio-Visual Library Units of Prefectural Libraries

Filmstrips and exhibit materials, particularly suitable for the secondary level, are to be found in the audio-visual library units of prefectural libraries. Stocked with more than 300 CIE films, many of which are suitable for social studies, science and international understanding, these materials represent a substantial

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS NO. [illegible]

asset which is not being fully utilized. Though intended primarily for adult groups, Boards of Education will be urged to make fuller use of this material in hours when adults are otherwise occupied. Prefectures should also be encouraged to acquire Japanese films, filmstrips and other materials for these libraries, anticipating a reduction, at the very least, in the amount of similar material now being supplied by the Occupation.

21. Special Education

The lack of vocational opportunities for the graduates of special schools for the handicapped, in particular the blind and deaf, continues to be a major problem as far as the future welfare and social acceptance of these people are concerned. Plans for the coming year envision attacks upon this problem along the following lines:

a. Prefectural surveys of handicapped children not in schools, estimated to run as high as 60% in some prefectures. Present boarding costs average ¥20,000 per year per student -- too high for average family. Prefectural and national government help is necessary.

b. A study to be undertaken, directed by the Ministry of Education and/or private organizations, concerning the nature and suitability of vocations for blind and deaf in all fields, followed by adequate information material.

c. Establishment of prefectural vocational committees for the handicapped, whose purpose will be to find jobs and obtain acceptance for handicapped people upon a competitive basis.

d. The establishment in prefectures of pilot job training for demonstration purposes. This should be followed up by a public relations program on both prefectural and national levels for public understanding of the vocational problems of the handicapped and publicity for successful job holders in new vocational fields.

CIE, Field Unit assistance in any of these steps will be highly desirable and undoubtedly very helpful.

22. PTA at Secondary Level

PTA associations at the secondary level leave much to be desired in a. attendance and interest, b. program planning and follow-up and c. effective leadership training. The universal demand for "morals" education and charges of juvenile delinquency highlight the need for more and better informed PTA's at the secondary level.

Developments of the last six months concerning PTA national federation have caused great concern at the local level and have caused great concern at the local level and have conditioned them for training in parliamentary procedures, financial accounting leadership techniques. The need for CIE, Field Units to give guidance and assistance to any local or prefectural programs aimed at meeting these needs is urgent.

DECLASSIFIED E.O. 11652 Section 3 (E)(1)(D) NLJ/RAC 96-1

23. School Administration Districts

Japanese educators continue to watch closely the development of local patterns of school administration. Serious question is being raised as to the desirability of a board of education in every city, town, and village. The possibility is being explored of organizing large districts about the size of gun, but not following the gun boundaries, each with a single board of education responsible for both elementary and secondary education. The Ministry of Education will enlist the help of prefectural and local educational agencies in studying this problem and it will be given attention in IFEL's.

CIE, Field Unit can assist in this project by giving assistance to school officials in explaining how such a system could work effectively and democratically; and how to go about making tentative plans for such organizations in the cases where they are interested in such.

24. Health and Physical Program

The Ministry of Education is attempting to meet the obligations in the health and physical education programs in the secondary schools. The requirements of the health program as set forth in various laws especially the Amendments to the Board of Education Law, will be adhered to so far as possible, and the Ministry of Education is attempting to give explanation of this law, and assistance to schools in their effort to carry out its provisions. They are further encouraging schools to institute year-round recreational programs to help youth spend their leisure time in wholesome and worth-while ways. All these problems will be taken up in workshops and conferences, and in study programs in the various schools.

CIE, Field Unit can assist in this project by becoming familiar with all laws pertaining to the problem of health, and all programs that encourage health, physical education and recreational programs. They can assist in all programs to publicize and popularize these programs; and can assist individual schools to meet the requirements and standards of the laws.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 NSC MEMO

7 ilo workshops

LIST OF LEADERS FOR KINKI
SECONDARY SCHOOL WORKSHOP

Group	Leaders	Assistant
1. Evaluation	Prof. Jinshi Kataoka Kyoto University General Education	Superintendent School Guidance Section IFEL Shigeru Ohashi Superintendent of Guidance, School Education Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL Shigeru Matsumoto
2. Guidance	Dr. Y. Shimohata Kyoto University General Education	Superintendent for Guidance, School Guidance Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., Saburo Kashiwagi Assistant Professor, Kyoto University Ryozo Imosaka
3. Morale Education	Professor Ajisaka Kyoto University General Education	Superintendent School Guidance, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL Shotaro Kodera Guidance Superintendent, Education Section, Kyoto City Bd/Ed., IFEL A. Toyoshima
4. Guidance Technique	Dr. Shoshiro Kuromaru Kyoto University Medical Department	Superintendent School Guidance Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL M. Takata
5. Recreation Program for	Dr. Lt. Yukichi Shimohodo Professor, Kyoto University General Education	Instructor of Ryukoku University S. Yamasaki
6. Special Education	Prof. Toshiro Suenaga Assistant Professor Kyoto University General Education	Superintendent School Guidance, Kyoto Prefectural Bd/Ed., T. Nishio Assistant Professor, Seiwa Jogaku in University, K. Ishi
7. School Hygiene	Dr. M. A. Kawabata Kyoto University	Superintendent, Health Physical Education Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL (Mrs.) Izuko Yamamoto Guidance Superintendent, M. Sugiwara
8. Community and School	Dr. Lt. J. Usui Kyoto University Department of Literature	Guidance Superintendent, Education Section, Kyoto City Bd/Ed., IFEL T. Okumura, IFEL S. Kusama
9. International Understanding	Dr. Lt. T. Ariga Kyoto University Department of Literature	Superintendent, School Guidance Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL Y. Kawagoshi President of Seiwa Girls Short Term University, Hirose

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NSC MR:

10. Vocational Home-making in LSS		Staff of Educational Research Institute, Kyoto Prefecture, IFEL Hideo Yoshikawa
11. Agricultural Education	Dr. of AG M. Otsuki Professor, Kyoto University Department of Agriculture	Superintendent School Guidance Section, Bd/Ed., Kyoto Prefecture, IFEL Giichi Takahashi
12. Industrial Education	Dr. Tech. Tatsuyo Okada Professor Kyoto University Department of Technology	Principal of Fushimi USS, Kyoto City, H. Okutani
13. Commercial Education	Dr. Econ. Y. Horie Professor Kyoto University Department of Economics	Instructor of Rakuyo USS, Kyoto City, T. Kirita
14. Home-Making		Instructor of Yamashiro USS, Kyoto Prefecture, IFEL (Mrs.) Y. Wazumi
15. Vocational Guidance	Chief of Employment Stabilization Bd. of Naniwa, Osaka, Mr. M. Kato	Superintendent School Guidance, Kyoto Prefecture, Bd/Ed., IFEL T. Murayama

Address (expected) Subject	
Essence of New Education	Professor Y. Shimohodo (Dr. Lt) Dr. of S. S. Sasaki
On New Scientific Education	Professor Kyoto U. (S. Dept)
Education for International Understanding	Dr. Lt. T. Ariza (Dept. of Lt) Kyoto University

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

CONSTITUTION OF PLANNING COMMITTEE FOR 51-52 KINKI SECONDARY SCHOOL WORKSHOP

Art. 1 Projecting Committee shall be set up in order to carry on the said planning committee property and smoothly.

Art. 2 The committee will establish the scheme, and make cooperation closely to take care of mutual liaison and adjustment between all concerned such as Kyoto University concerned prefectural board of education, Kyoto City Board of Education to smoothen its management.

Art. 3 The head office of the said committee shall be established in the School Guidance Section, Kyoto Prefectural Board of Education Administrative Bureau.

Art. 4 The committee consists of the following members:

a. Committee

(1) Kyoto Prefectural Education Superintendent
(2) Kyoto City Education Superintendent
(3) Two representatives from Kyoto University
(4) Chief of Administrative Office, General Education Department, Kyoto University
(5) Chief of Guidance Section, Administrative Bureau Kyoto Prefectural Board of Education
(6) Chief of Guidance Section, Administrative Bureau Kyoto City Board of Education
(7) Chief of School Guidance Section, Administrative Bureau, Board of Education of all concerned prefectures
(8) Chief of School Education Section, Administrative Bureau, Kyoto City Board of Education.
(9) Chief of Hygiene, Physical Section, Administrative Bureau of Kyoto Prefectural Board of Education
(10) Chief of Health Education Section, Administrative Bureau of Kyoto City Board of Education
(11) Chief of social education, Administrative Bureau of Board of Education Kyoto City and Prefecture.
(12) Chief of Education Affairs Section, Kyoto Prefecture

b. Special Committee

(1) Two superintendents each from the Administrative Bureau, Board of Education of every concerned prefectures (1 from ordinary, another from Special Committee) except 4 superintendents each from Kyoto Prefectural, city Board of Education
(2) 3 representatives of USS principals
(3) 2 representatives of LSS
(4) A representative from Kyoto University

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS No.

c. General Affairs Committee

Two superintendents of Administrative Bureau, Board of Education, Kyoto Prefecture.

Committee shall elect a chairman two vice-chairmen through mutual election.

Art. 5 The committee shall research and consult mutually in order to attain the object specified in Art. 2.

Special Committee shall carry research and consultation specially whenever necessity calls for the purpose of disposal of the results as well as predrafting original plan for exercise of research Assembly and other various preparations therewith.

General Affairs Committee shall make every recrod and keep them, and function other necessary general works.

Art. 6 Committee shall be convened in accordance with necessity by the chairman.

Art. 7 Any necessary minor regulations shall be provided by the Committee other than provided by this Constitution.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/MRDS NO. [illegible]

(Revised Plan for the Workshop)
Plan of Outlines for the Research
Assembly on Secondary Education

1. Term from June 26, 1951 (Thurs) to July 2, 1951 (Mon) (for a week)

2. Number of persons expected to participate:

Wakayama	30	Hyogo	50
Shiga	30	Mie	40
Osaka	50	Nara	50
Kyoto	90	Total	340

3. Designated school where the assembly to be held: Kyoto City Nijo LSS

4. Subjects to be discussed and contents:

a. Evaluation of School - To set the object and significance of the school evaluation.
Setting the evaluation standard of school evaluation and its outline.
Leader - Prof. Kataoka, Kyoto University

b. Guidance in Study:- On betterment of way of study at secondary schools
Leader - Shimohodo, Kyoto University
Assistant - Kashiwagi, Prefectural Board of Education
Imosaka, Kyoto University

c. Moral Education:- Concrete method for promotion of morale education at schools.
Leader - Professor Ajisaka, Kyoto University
Assistant - Kodera, Prefectural Board of Education
Toyoshima, City Board of Education

d. Technique of Guidance - How guidance technique toward students in question should be?

e. Recreational scheme for student guidance - What kind of, by what means recreation for student guidance should be carried on? (Specially from the standpoint of education for culture of sentiments)
Leader - Professor Shimohodo, Kyoto University
Assistant - Professor Yamasaki, Ryukoku University

f. Special Educational Activities - To study effective plans and methods of exercise of special educational activities.
Leader - Professor Suenaga, Kyoto University
Assistant - Nishio, Prefectural Board of Education
Ishii, Professor of Seiwa Girl's University

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS No.

g. School Hygiene - How the environment should be adjusted in order to achieve the object of school hygiene. Re school hygiene program.
Leader - Professor Kawabata, Kyoto University
Assistant - Mrs. Yamamoto, Prefectural Board of Education
Sugiura, Kobe City Board of Education

h. Regional society and school - How concretely should we maintain cooperation between regional societies and schools.
Leader - Professor Usui, Kyoto University
Assistant - Kuwamura, City Board of Education
Kusama, City Board of Education

i. Education for internation understandings - How education should be in order to deepen international understandings?
Leader - Dr. Ariga, Kyoto University
Assistant - Kawagoe, Prefectural Board of Education
Professor Hirose, Seiwa Girls University

j. Vocational and domestic science at lower secondary schools

(1) Re basic ability in vocational education, domestic science
(2) Re standard of facilities and equipments for vocational education and domestic science and its method of repletion.
Assistant - Mr. Yoshikawa, Prefectural Research. Institute

k. Agricultural education - How synthetic education should be?
Leader - Professor Otsuki, Kyoto University
Assistant Mr. Takahashi, Prefectural Board of Education

l. Industrial education - Re application in study-guidance on the result of vocational division.
Leader - Professor Kawane, Kyoto University
Assistant - Okutani, Fushimi USS

m. Commercial education

(1) Re outline of the new study guidance
(2) Re induction of commercial business into s chool commercial education
Leader - Professor Horie, Kyoto University
Assistant - Kirita, Rakuyo USS

n. Domestic science education

(1) Re outline of the new study guidance
(2) Study on status, contents of general households and how to guide
Study of family relation as to its contents and guidance.
Assistant - Mrs. Wazumi, Yamashiro USS

DECLASSIFIED E.O. 11652 SECTION 3 (E)(1)(2) NLS No. [illegible]

o. Vocational guidance

(1) Vocational guidance and its program at secondary schools.
(2) By what means can students find their suitability for any work through developed experiences.

Leader - Mr. Kato, Chief of Unemployment Stabilization Board of Naniwa
Assistant - Mr. Murayama, Prefectural Board of Education

Subject (The same as above)	Anticipated Demonstration Place	Schools Where Study Plan Tube Made Before the Fact	
		LSS	USS
A	Sushimi LSS	Sunai	Sonobe
B	Shotoku LSS	Maizuru City	Suichi Higashi Maizuru Nishi Maizuru
C	Nijo LSS	Yosha	Miyazu Rakuhoku Suisan Kaetsu
D	Kujo LSS	Ayabe Karaku	Kameoka
E	Nijo LSS	Soraku	Oki, Kizu
F	Nijo LSS Rakuhoku USS	Kitakuwata	Kitanorita Sagano
G	Yanagiike LSS	Otsukuni Tsuzuki	Jonan
H	Kizu USS	Amata, Sukuchiyama	Fukuchiya Kawamori
I	Shijo LSS	Uji	Suzaku Katsura
J	Matsubara LSS	Minami Norita	
K	Kizu USS		Ayabe Azumayada Mineyama
L	Rakuyo USS (Machine) Fushimi USS (Wood Craft)		Momoyama
M	Momoyama USS		Yamashiro
N	Oki USS		Amino, Kumihama
O	Suzaku USS	Okutango	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (E)(2) NNSC NO. [illegible]

WORKSHOP PROGRAM

June 26 (Tues)

0900-0930	Opening Ceremony
0930-1030	Lecture by CIE
1030-1100	Explanation of Program
1100-1145	Research in groups
1300-1700	" "

June 27 (Wed)

0830-1000	Lecture by Professor Shimohodo
1000-1145	Study in groups
1300-1700	" "

June 28 (Thurs)

0830-0900	How to go on with explanation at classes and how to evalue them.
0900-1000	Demonstration of class at work
1000-1100	Research meeting on how to give lessons at classes
1100-1215	Study in groups
1300-1700	" "

June 29 (Fri)

0830-1000	Lecture by Professor Sasaki, Kyoto University
1000-1145	Study in groups
1300-1700	Inspection of Primary School To Suzaku No. 6 Primary School

June 30 (Sat)

0830-1145	Study in groups
1300-1700	" "

July 1 (Sun)

0830-1000	Lecture by Professor Ariza, Kyoto University
1000-1145	Study in groups
1300-1700	" "

July 2 (Mon)

0830-1000	Study in groups
1000-1130	Report the result of studies , Questions and Answers
1300-1400	Scheme making after the meeting according to each prefecture
1400-1430	Adjourning

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS NO. _____

Re Recreational Performances at the Workshop

Participants total 340 (girls 1/3)

Time from 1145-1215 hours, for 30 minutes

June 26 (Tues)	Band of Kamikyo LSS
	Oki USS Ballet
June 27 (Wed)	Practice of chorus
June 29 (Fri)	Parade by all, square dance
June 30 (Sat)	Indoor games
July 1 (Sun)	Study publication at Nijo LSS

EXPECTED NUMBER OF PARTICIPANTS

SUBJECT		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	TOTAL
PARTICIPANTS	TOTAL																
Wakayama	30	2	2	2	1 1	1 1	1 1	1 1	2	2	1 1	2	2	2	2	2	23 7
Hyogo	50	3 1	3 1	3 1	2 1	2 1	2 1	2 1	2 1	2 1	2 2	2 1	3	3	3	3 1	37 13
Osaka	50	4	3 1	3 1	3 1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	2 1	42 8
Nara	50	4	2 2	3 2	2 2	2 1	3 1	2 2	2 1	2	3 2	3	2	1	2	3 1	34 16
Kyoto	90	7	6 3	6 3	6	4 3	4 3	5 3	6 2	4 2	4 3	3	3	3	4	2 1	63 27
Shiga	30	2	2	2	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	2	1 1	2	2	2	2	2 1	21 9
Mie	30	3	2 1	2 1	1 2	2 1	1 2	2 1	2 1	2 1	1 2	2	2	2	2	2	26 14
Total	340	25 1	20 7	21 8	16 8	15 9	15 9	16 9	18 6	17 4	15 11	17 1	17	16	3 16	15 5	246 94

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 102, NNSC NO. _____

LIST OF LEADERS FOR KINKI SECONDARY SCHOOL WORKSHOP

Group	Leaders	Assistant
1. Evaluation	Prof. Jinshi Kataoka Kyoto University General Education	Superintendent School Guidance Section IFEL Shigeru Ohashi Superintendent of Guidance, School Education Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL Shigeru Matsumoto
2. Guidance	Dr. Y. Shimohata Kyoto University General Education	Superintendent for Guidance, School Guidance Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., Saburo Kashiwagi Assistant Professor, Kyoto University Ryozo Imosaka
3. Morale Education	Professor Ajisaka Kyoto University General Education	Superintendent School Guidance, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL Shotaro Kodera Guidance Superintendent, Education Section, Kyoto City Bd/Ed., IFEL A. Toyoshima
4. Guidance Technique	Dr. Shoshiro Kuromaru Kyoto University Medical Department	Superintendent School Guidance Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL M. Takata
5. Recreation Program for	Dr. Lt. Yukichi Shimohodo Professor, Kyoto University General Education	Instructor of Ryukoku University S. Yamasaki
6. Special Education	Prof. Toshiro Suenaga Assistant Professor Kyoto University General Education	Superintendent School Guidance, Kyoto Prefectural Bd/Ed., T. Nishio Assistant Professor, Seiwa Jogaku in University, K. Ishi
7. School Hygiene	Dr. M. A. Kawabata Kyoto University	Superintendent, Health Physical Education Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL (Mrs.) Izuko Yamamoto Guidance Superintendent, M. Sugiwara
8. Community and School	Dr. Lt. J. Usui Kyoto University Department of Literature	Guidance Superintendent, Education Section Kyoto City Bd/Ed., IFEL T. Okumura, IFEL S. Kusama
9. International Understanding	Dr. Lt. T. Ariga Kyoto University Department of Literature	Superintendent, School Guidance Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL Y. Kawagoshi President of Seiwa Girls Short Term University, Hirose

10. Vocational Home-making in LSS		Staff of Educational Research Institute, Kyoto Prefecture, IFEL Hideo Yoshikawa
11. Agricultural Education	Dr. of AG M. Otsuki Professor, Kyoto University Department of Agriculture	Superintendent School Guidance Section, Bd/Ed., Kyoto Prefecture, IFEL Giichi Takahashi
12. Industrial Education	Dr. Tech. Tatsuyo Okada Professor Kyoto University Department of Technology	Principal of Fushimi USS, Kyoto City, H. Okutani
13. Commercial Education	Dr. Econ. Y. Horie Professor Kyoto University Department of Economics	Instructor of Rakuyo USS, Kyoto City, T. Kirita
14. Home-Making		Instructor of Yamashiro USS, Kyoto Prefecture, IFEL (Mrs.) Y. Wazumi
15. Vocational Guidance	Chief of Employment Stabilization Bd. of Naniwa, Osaka, Mr. M. Kato	Superintendent School Guidance, Kyoto Prefecture, Bd/Ed., IFEL T. Murayama

Address (expected)	Subject	
	Essence of New Education	Professor Y. Shimohodo (Dr. Lt) Dr. of S. S. Sasaki
	On New Scientific Education	Professor Kyoto U. (S. Dept)
	Education for International Understanding	Dr. Lt. T. Ariza (Dept. of Lt) Kyoto University

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. _____

CONSTITUTION OF PLANNING COMMITTEE FOR 51-52 KINKI SECONDARY SCHOOL WORKSHOP

Art. 1 Projecting Committee shall be set up in order to carry on the said planning committee property and smoothly.

Art. 2 The committee will establish the scheme, and make cooperation closely to take care of mutual liaison and adjustment between all concerned such as Kyoto University concerned prefectural board of education, Kyoto City Board of Education to smoothen its management.

Art. 3 The head office of the said committee shall be established in the School Guidance Section, Kyoto Prefectural Board of Education Administrative Bureau.

Art. 4 The committee consists of the following members:

a. Committee

(1) Kyoto Prefectural Education Superintendent
(2) Kyoto City Education Superintendent
(3) Two representatives from Kyoto University
(4) Chief of Administrative Office, General Education Department, Kyoto University
(5) Chief of Guidance Section, Administrative Bureau Kyoto Prefectural Board of Education
(6) Chief of Guidance Section, Administrative Bureau Kyoto City Board of Education
(7) Chief of School Guidance Section, Administrative Bureau, Board of Education of all concerned prefectures
(8) Chief of School Education Section, Administrative Bureau, Kyoto City Board of Education.
(9) Chief of Hygiene, Physical Section, Administrative Bureau of Kyoto Prefectural Board of Education
(10) Chief of Health Education Section, Administrative Bureau of Kyoto City Board of Education
(11) Chief of social education, Administrative Bureau of Board of Education Kyoto City and Prefecture.
(12) Chief of Education Affairs Section, Kyoto Prefecture

b. Special Committee

(1) Two superintendents each from the Administrative Bureau, Board of Education of every concerned prefectures (1 from ordinary, another from Special Committee) except 4 superintendents each from Kyoto Prefectural, city Board of Education
(2) 3 representatives of HSS principals
(3) 2 representatives of LSS
(4) A representative from Kyoto University

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDS No.

c. General Affairs Committee

Two superintendents of Administrative Bureau, Board of Education, Kyoto Prefecture.

Committee shall elect a chairman two vice-chairmen through mutual election.

Art. 5 The committee shall research and consult mutually in order to attain the object specified in Art. 2.

Special Committee shall carry research and consultation specially whenever necessity calls for the purpose of disposal of the results as well as drafting original plan for exercise of research Assembly and other various preparations therewith.

General Affairs Committee shall make every record and keep them, and function other necessary general works.

Art. 6 Committee shall be convened in accordance with necessity by the chairman.

Art. 7 Any necessary minor regulations shall be provided by the Committee other than provided by this Constitution.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNBS No.

(Revised Plan for the Workshop)
Plan of Outlines for the Research
Assembly on Secondary Education

1. Term from June 26, 1951 (Thurs) to July 2, 1951 (Mon) (for a week)

2. Number of persons expected to participate:

Wakayama	30	Hyogo	50
Shiga	30	Mie	40
Osaka	50	Nara	50
Kyoto	90	Total	340

3. Designated school where the assembly to be held: Kyoto City Nijo LSS

4. Subjects to be discussed and contents:

a. Evaluation of School - To set the object and significance of the school evaluation.
Setting the evaluation standard of school evaluation and its outline.
Leader - Prof. Kataoka, Kyoto University

b. Guidance in Study:- On betterment of way of study at secondary schools
Leader - Shimohodo, Kyoto University
Assistant - Kashiwagi, Prefectural Board of Education
Kosaka, Kyoto University

c. Moral Education:- Concrete method for promotion of morale education at schools.
Leader - Professor Ajisaka, Kyoto University
Assistant - Kodera, Prefectural Board of Education
Toyoshima, City Board of Education

d. Technique of Guidance - How guidance technique toward students in question should be?

e. Recreational scheme for student guidance - What kind of, by what means recreation for student guidance should be carried on? (Specially from the standpoint of education for culture of sentiments)
Leader - Professor Shimohodo, Kyoto University
Assistant - Professor Yamasaki, Ryukoku University

f. Special Educational Activities - To study effective plans and methods of exercise of special educational activities.
Leader - Professor Suenaga, Kyoto University
Assistant - Nishio, Prefectural Board of Education
Ishii, Professor of Seiwa Girl's University

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNBS NO.

g. School Hygiene - How the environment should be adjusted in order to achieve the object of school hygiene. Re school hygiene program.
Leader - Professor Kawabata, Kyoto University
Assistant - Mrs. Yamamoto, Prefectural Board of Education
Sugiura, Kobe City Board of Education

h. Regional society and school - How concretely should we maintain cooperation between regional societies and schools.
Leader - Professor Usui, Kyoto University
Assistant - Kuwamura, City Board of Education
Kusama, City Board of Education

i. Education for internation understandings - How education should be in order to deepen international understandings?
Leader - Dr. Ariga, Kyoto University
Assistant - Kawagoe, Prefectural Board of Education
Professor Hirose, Seiwa Girls University

j. Vocational and domestic science at lower secondary schools

(1) Re basic ability in vocational education, domestic science
(2) Re standard of facilities and equipments for vocational education and domestic science and its method of repletion.
Assistant - Mr. Yoshikawa, Prefectural Research Institute

k. Agricultural education - How synthetic education should be?
Leader - Professor Otsuki, Kyoto University
Assistant Mr. Takahashi, Prefectural Board of Education

l. Industrial education - Re application in study-guidance on the result of vocational division.
Leader - Professor Kawane, Kyoto University
Assistant - Okutani, Fushimi USS

m. Commercial education

(1) Re outline of the new study guidance
(2) Re induction of commercial business into school commercial education
Leader - Professor Horie, Kyoto University
Assistant - Kirita, Rakuyo USS

n. Domestic science education

(1) Re outline of the new study guidance
(2) Study on status, contents of general households and how to guide
Study of family relation as to its contents and guidance.
Assistant - Mrs. Wazumi, Yamashiro USS

o. Vocational guidance

(1) Vocational guidance and its program at secondary schools.
(2) By what means can students find their suitability for any work through developed experiences.

Leader - Mr. Kato, Chief of Unemployment Stabilization Board of Naniwa
Assistant - Mr. Murayama, Prefectural Board of Education

Subject (The same as above)	Anticipated Demonstration Place	Schools Where Study Plan Tube Made Before the Fact	
		LSS	USS
A	Sushimi LSS	Sunai	Sonobe Suichi
B	Shotoku LSS	Maizuru City	Higashi Maizuru Nishi Maizuru
C	Nijo LSS	Yosha	Miyazu Rakuhoku Suisan Kaetsu
D	Kujo LSS	Ayabe Kuraku	Kameoka
E	Nijo LSS	Soraku	Oki, Kizu
F	Nijo LSS Rakuhoku USS	Kitakuwata	Kitanorita Sagano
G	Yanagiike LSS	Otsukuni Tsuzuki	Jonan
H	Kizu USS	Amata, Sukuchiyama	Fukuchiya Kawamori
I	Shijo LSS	Uji	Suzaku Katsura
J	Matsubara LSS	Minami Norita	
K	Kizu USS		Ayabe Azumayada Mineyama
L	Rakuyo USS (Machine) Fushimi USS (Wood Craft)		Momoyama
M	Momoyama USS		Yamashiro
N	Oki USS		Amino, Kumihama
O	Suzaku USS	Okutango	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG No. [illegible]

WORKSHOP PROGRAM

June 26 (Tues)

0900-0930	Opening Ceremony
0930-1030	Lecture by CIE
1030-1100	Explanation of Program
1100-1145	Research in groups
1300-1700	" "

June 27 (Wed)

0830-1000	Lecture by Professor Shimohodo
1000-1145	Study in groups
1300-1700	" "

June 28 (Thurs)

0830-0900	How to go on with explanation at classes and how to evalue them.
0900-1000	Demonstration of class at work
1000-1100	Research meeting on how to give lessons at classes
1100-1215	Study in groups
1300-1700	" "

June 29 (Fri)

0830-1000	Lecture by Professor Sasaki, Kyoto University
1000-1145	Study in groups
1300-1700	Inspection of Primary School To Suzaku No. 6 Primary School

June 30 (Sat)

0830-1145	Study in groups
1300-1700	" "

July 1 (Sun)

0830-1000	Lecture by Professor Ariza, Kyoto University
1000-1145	Study in groups
1300-1700	" "

July 2 (Mon)

0830-1000	Study in groups
1000-1130	Report the result of studies , Questions and Answers
1300-1400	Scheme making after the meeting according to each prefecture
1400-1430	Adjourning

DECLASSIFIED E.O. 11652 Section 3 (E)(2), Note

Re Recreational Performances at the Workshop

Participants total 340 (girls 1/3)

Time from 1145-1215 hours, for 30 minutes

June 26 (Tues)	Band of Kamikyo LSS
	Oki USS Ballet
June 27 (Wed)	Practice of chorus
June 29 (Fri)	Parade by all, square dance
June 30 (Sat)	Indoor games
July 1 (Sun)	Study publication at Nijo LSS

EXPECTED NUMBER OF PARTICIPANTS

SUBJECT		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	TOTA
PARTICIPANTS	TOTAL																
Wakayama	30	2	2	2	1 1	1 1	1 1	1 1	2	2	1 1	2	2	2	2	2	23 7
Hyogo	50	3 1	3 1	3 1	2 1	2 1	2 1	2 1	2 1	2 1	2 2	2 1	3	3	3	3 1	37 13
Osaka	50	4	3 1	3 1	3 1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	2 1	42 8
Nara	50	4	2 2	3 2	2 2	2 1	3 1	2 2	2 1	2	3 2	3	2	1	2	3 1	34 16
Kyoto	90	7	6 3	6 3	6	4 3	4 3	5 3	6 2	4 2	4 3	3	3	3	4	2 1	63 27
Shiga	30	2	2	2	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	2	1 1	2	2	2	2	2 1	21 9
Mie	30	3	2 1	2 1	1 2	2 1	1 2	2 1	2 1	2 1	1 2	2	2	2	2	2	26 14
Total	340	25 1	20 7	21 8	16 8	15 9	15 9	16 9	18 6	17 4	15 11	17 1	17	16	3 16	15 5	26 9

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNSC NO.

LIST OF LEADERS FOR KINKI SECONDARY SCHOOL WORKSHOP

Group	Leaders	Assistant
1. Evaluation	Prof. Jinshi Katsoka Kyoto University General Education	Superintendent School Guidance Section IFEL Shigeru Ohashi Superintendent of Guidance, School Education Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL Shigeru Matsumoto
2. Guidance	Dr. Y. Shimohata Kyoto University General Education	Superintendent for Guidance, School Guidance Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., Saburo Kashiwagi Assistant Professor, Kyoto University Ryozo Imosaka
3. Morale Education	Professor Ajisaka Kyoto University General Education	Superintendent School Guidance, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL Shotaro Kodera Guidance Superintendent, Education Section, Kyoto City Bd/Ed., IFEL A. Toyoshima
4. Guidance Technique	Dr. Shoshiro Kuromaru Kyoto University Medical Department	Superintendent School Guidance Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL M. Takata
5. Recreation Program for	Dr. Lt. Yukichi Shimohodo Professor, Kyoto University General Education	Instructor of Ryukoku University S. Yamasaki
6. Special Education	Prof. Toshiro Suenaga Assistant Professor Kyoto University General Education	Superintendent School Guidance, Kyoto Prefectural Bd/Ed., T. Mishio Assistant Professor, Seiwa Jogaku in University, K. Ishi
7. School Hygiene	Dr. M. A. Kawabata Kyoto University	Superintendent, Health Physical Education Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL (Mrs.) Izuko Yamamoto Guidance Superintendent, M. Sugiwara
8. Community and School	Dr. Lt. J. Usui Kyoto University Department of Literature	Guidance Superintendent, Education Section, Kyoto City Bd/Ed., IFEL T. Okumura, IFEL S. Kusama
9. International Understanding	Dr. Lt. T. Ariga Kyoto University Department of Literature	Superintendent, School Guidance Section, Kyoto Prefectural Bd/Ed., IFEL Y. Kawagoshi President of Seiwa Girls Short Term University, Hirose

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 NND/NNS NS

10. Vocational Home-making in LSS		Staff of Educational Research Institute, Kyoto Prefecture, IFEL Hideo Yoshikawa
11. Agricultural Education	Dr. of AG M. Otsuki Professor, Kyoto University Department of Agriculture	Superintendent School Guidance Section, Bd/Ed., Kyoto Prefecture, IFEL Giichi Takahashi
12. Industrial Education	Dr. Tech. Tatsuyo Okada Professor Kyoto University Department of Technology	Principal of Fushimi USS, Kyoto City, H. Okutani
13. Commercial Education	Dr. Econ. Y. Horie Professor Kyoto University Department of Economics	Instructor of Rakuyo USS, Kyoto City, T. Kirita
14. Home-Making		Instructor of Yamashiro USS, Kyoto Prefecture, IFEL (Mrs.) Y. Wazumi
15. Vocational Guidance	Chief of Employment Stabilization Bd. of Naniwa, Osaka, Mr. M. Kato	Superintendent School Guidance, Kyoto Prefecture, Bd/Ed., IFEL T. Murayama

Address (expected)	Subject	
	Essence of New Education	Professor Y. Shimohodo (Dr. Lt) Dr. of S. S. Sasaki
	On New Scientific Education	Professor Kyoto U. (S. Dept)
	Education for International Understanding	Dr. Lt. T. Ariza (Dept. of Lt) Kyoto University

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 402/NNDS NO. [redacted]

CONSTITUTION OF PLANNING COMMITTEE FOR 51-52 KINKI SECONDARY SCHOOL WORKSHOP

Art. 1 Projecting Committee shall be set up in order to carry on the said planning committee property and smoothly.

Art. 2 The committee will establish the scheme, and make cooperation closely to take care of mutual liaison and adjustment between all concerned such as Kyoto University concerned prefectural board of education, Kyoto City Board of Education to smoothen its management.

Art. 3 The head office of the said committee shall be established in the School Guidance Section, Kyoto Prefectural Board of Education Administrative Bureau.

Art. 4 The committee consists of the following members:

a. Committee

(1) Kyoto Prefectural Education Superintendent
(2) [redacted]perintendent
(3) Two representatives from Kyoto University
(4) Chief of Administrative Office, General Education Department, Kyoto University
(5) Chief of Guidance Section, Administrative Bureau Kyoto Prefectural Board of Education
(6) Chief of Guidance Section, Administrative Bureau Kyoto City Board of Education
(7) Chief of School Guidance Section, Administrative Bureau, Board of Education of all concerned prefectures
(8) Chief of School Education Section, Administrative Bureau, Kyoto City Board of Education.
(9) Chief of Hygiene, Physical Section, Administrative Bureau of Kyoto Prefectural Board of Education
(10) Chief of Health Education Section, Administrative Bureau of Kyoto City Board of Education
(11) Chief of social education, Administrative Bureau of Board of Education Kyoto City and Prefecture.
(12) Chief of Education Affairs Section, Kyoto Prefecture

b. Special Committee

(1) Two superintendents each from the Administrative Bureau, Board of Education of every concerned prefectures (1 from ordinary, another from Special Committee) except 4 superintendents each from Kyoto Prefectural, city Board of Education
(2) 3 representatives of [redacted] principals
(3) 2 representatives of [redacted]
(4) A representative from Kyoto University